

# プトゥンのガナチャクラ儀軌 『大楽遊戯』和訳(2)

静 春 樹

## 凡例

- ① 以下は、プトゥン (Bu ston Rin chen grub 1290~1364) 作 Toh 蔵外目録 5067 Tshogs-kyi 'khor- lo dang dpa'po'i ston mo'i lag-len-gyi cho-ga, bDe-chen rnam-rol zhes-bya-ba (『聚輪と勇者の饗宴の作法儀軌, 「大楽遊戯」と名づける書』<sup>1)</sup> 後半部分の和訳である。同書は大きく「前行」「正行」「随行」の三部に分かれており、それに付属部分と「奥書」からなっている。最初の「前行」と「奥書」の試訳は既に [静: 2005] で発表し、それに手を加えた和訳を [静: 2007] に収めた。今回の和訳は当儀軌の後半部分に当たり、全体の三分の二の分量を占める。
- ② 和訳は *The Collected Works of Bu ston*, ŚPS vol.47, Lokesh Chandra (ed.) 1967所収のテキストに基づいている。ローマナイズしたテキスト全文は科段に分けて文末に出した。ローマナイズに当たり、人名は最初の基字を大文字にした。
- ③ 和訳の文中では、タントラや註釈書の名称およびカタカナ人名にゴチック体を用いた。
- ④ 翻訳上で補った語句は〔 〕で示し、訳語の理解を図るため ( ) 内に説明の語句あるいは想定されるサンスクリットを入れた。
- ⑤ 全体の構成を知るための便宜を図って、最初に科段を挙げた。なおプトゥンのガナチャクラ (以下、聚輪) 理解に関する筆者の見解は [静: 2007: 341~344] で論じた。

## シノプシス

総論	1b1
(1) 目的	1b6

(2) 人	2a1
(3) 時	3a4
(4) 場所	3a7
(5) 資具	3b3
(6) 儀軌の内容	3b5
I. 前行	3b5
1. 会処の障凝の除去と祝福	3b7
2. 会処の荘嚴と浄化	4a1
3. 必需品の準備	4a3
①曼荼羅自体の準備	4a4
(1) 聚会曼荼羅の場合	4a4
(2) 図絵曼荼羅の場合	4a6
②曼荼羅以外の準備	4a7
(1) 座の準備	4b1
(2) 供物の準備	4b7
(3) 資具の準備	5a7
4. 聚会導師の選定	5b2
5. 入聚会処の儀則	5b7
(1) 門衛阿闍梨の指定	6a1
(2) 羯磨金剛者の指定	6a3
(3) 沐浴の所作	6a4
(4) 門衛阿闍梨への懇願	6a4
(5) 許可の授与後の入門	6b5
(6) 入門後の着座の規定	6b6
6. 香曼荼羅の奉献と請願	7a4
7. 違犯した三昧耶の修復	8a4
8. 守護輪の觀想	8a6
(以上『高野山大学密教文化研究所紀要』18号掲載)	
II. 正行	8a7
1. 曼荼羅の成就	8a7

(1) 曼荼羅を聚会曼荼羅とする場合	8a7
(2) 図絵曼荼羅の場合	8b6
2. 広大供養	8b7
(1) 外供養	9a1
(2) 意所成供養	9a3
(3) 内供養	9a6
(4) 秘密供養	10a6
(5) 讃歎供養	10a6
(6) バリ供養	10a7
(7) 聚会供養	11a5
(8) 眞実供養	14b2
(9) 金剛歌と舞踏の供養	15a4
III. 随行	18b6
1. 施主による所願成就の懇願	18b7
2. 施主による施物の奉獻と廻向と誓願	19a4
3. 施主に対する祝福	20a7
4. バリ供養	20b4
5. 曼荼羅の揆遣	21b1
6. 堪忍の懇願と帰還の奏上	21b3
IV. 付則 (『Dombiheruka 教誡』)	22a1
V. 奥書	23b1

## 和訳 (承前)

## II. 正行

第二〔の正行〕については、曼荼羅の成就と供物による広大供養との二つ〔である〕。

## II. 1. 曼荼羅の成就

## II. 1. (1)〈聚会曼荼羅の場合〉

〔その曼荼羅の成就の〕第一は、一つの〔中心となる〕曼荼羅を聚会曼荼羅

として修法する場合には、金剛阿闍梨が儀軌どおりに成就する。宝楼阁 (*hū tīgāra*) を生起する際には、聚会の祠堂自体が四角四門で四鳥居門をもつなどすべての標幟を円満した座を具えた宝楼阁として生起される。本尊を生起する際には、阿闍梨自身を曼荼羅の主尊として生起し、眷属を生起する際には、眷属を子宮から生起させる流儀で広観する場合には、主尊である父母尊が等入し給うた子宮から輪などを生起せよ。〔以上が〕広観である。御事業を為されてから再び摂受し、儀軌によりそれぞれの集団に融化させた上で、それぞれに尊格を生起する。子宮からは生起しない流儀の場合は、阿闍梨の身体の蘊界処の清浄なる諸部分に相応して輪の尊格をそれぞれに生起して諸集団に融化させるべし。諸々の集団もまたそれぞれの尊格を本質とすると観想すべし。次に、〔三〕 処と身語心を加持して、智〔薩埵〕を趣入して灌頂と刻印<sup>2)</sup>を自らの経儀軌の如くに為す。『行合集灯』の中で、「先ず勝義諦に縁じてから、自身加持次第で金剛薩埵の身として自らを生起して、曼荼羅の部主の仕方で座して色の境界において行を為すのである」<sup>3)</sup>云々と言われている。

## II. 1. (2)〈図絵曼荼羅の場合〉

一つの〔中心となる〕曼荼羅を聚会曼荼羅として成就するのではなくて、色粉曼荼羅を描く流儀においては、始めに全員が我生起 (*ātmapada*) の円満を修習した上で、読誦の終わりに至って作るべし。そこで、前行に色粉曼荼羅を浄化してから、それぞれの経儀軌どおりに円満し、成就した部主のマントラを百反、眷属の〔マントラ〕は二十一反などを誦すべし。

## II. 2. 広大供養

第二〔の広大供養〕については、外〔供養〕と意所成〔供養〕と内〔供養〕と秘密〔供養〕と讚歎〔供養〕とバリ〔供養〕と聚会〔供養〕と真実〔供養〕と金剛歌舞供養とである。

### II. 2. (1)〈外供養<sup>4)</sup>〉

〔以上の〕九つの第一は、供養の資具を浄化する加持をそれぞれの経儀軌どおりに為す。水一つまたは二つまたは四つ〔の供養〕を先にして、五供物 (*pañcopacāra*) と音楽の供養を為せ。そこで外〔供養〕の資具全部が集められる際には、五妙楽 (*pañcakāmaguṇa*) として撰集されているから、五妙楽をそれぞれの経儀軌で説かれているマントラと印契と一緒に献ずべし。ジュ

ニャーナパーダ流の如く印契がない場合には、偈頌とマントラだけで献ず。それらは外の資具を献ずるが故に外供養と言われるのである。

## II. 2. (2)〈意所成供養<sup>5)</sup>〉

第二は、転輪王の七宝は外の資具の奉献であるから外供養であるが、物品はなくて自身の胸の種子から意によって化作して献ずるが故に意の供養ともなるのである。『秘密集会』の中では、「淨信の智者は七宝でこの国土を普く満たすのであり、悉地を願ひグルのために日々、具慧者が献ずべし」<sup>6)</sup>とされている。〔チャンドラキールティの〕『註釈』では、転輪王の七宝と摩尼の七宝の〔奉献の〕両方が説かれており<sup>7)</sup>、殊勝なる財物をもつ者の供養と言われるのである。サンヴァラの十六明妃が供養するものは外供養が大部分であるが、意によって化作して献ずるが故に意の供養と積される。

## II. 2. (3)〈内供養<sup>8)</sup>〉

第三は内供養であり、それぞれの経儀軌どおりに加持せよ。右手の頭蓋鉢を我生起での供養の際には、その額を自分に向けて示すべし。前面生起(*pūrvotpada*)での供養の際には、額を反対に向けて示す。『金剛四座』<sup>9)</sup>の中で述べられている如く、酒の中央に甘露の心真言をそれぞれに思念せよ。左手の親指は *kṣam* 字から生じた大地、無名指は *sum* 字から生じた須弥山と思念すべし。その二つの尖端を結び、カーラチャクラとヘーヴァヅラ等では右旋回、サンヴァラと四座等では左旋回で三反攪拌して、かつて威力ある阿修羅が大海を攪拌して甘露が生じた如くに、甘露の心真言を唱える。グルたちが己の頭頂の上部で衆会していると、あるいは重なって聳えていると思念する。始めに根本のグルの名前を呼び、Om Āḥ Hūmあるいはカーラチャクラの場合なら「帰命します」と唱えて献ずべし。次に相承のグルたちに〔献ずべし〕。次に、『アームナーヤマンジャリー』で「酒の〔滴で〕法源を作って自身の胸の光明で鉤召した智輪を儀軌どおりに供養せよ」<sup>10)</sup>とされている如く、『サンヴァラ註釈』でも〔同様に〕積されている<sup>11)</sup>ので、地面に左手の無名指で酒の〔滴で〕三角の尖端が自分に向いた法源を描け。その中央に円を描いて、胸の光明によって曼荼羅輪をその場に鉤召して、鏡の影像の如くに明らかに照見したところで、曼荼羅の尊格にそれぞれのマントラと心真言の末尾に Om Āḥ Hūm を付けて献ずべし。それも出来ない時には、各尊格の

標幟に対して Om Āḥ Hūṃ を付けて献ぜよ。次に、無上瑜伽タントラに出る三十六部族の部主の名前に「眷属も御一緒に」と付け加えて献ずべし。次に、喉に一切の尊格の集会を自性とする塔廟を思念してそれに献ずべし。

次に、舌先と眉間と頭頂の三処に酒の滴を作り、三有に住する過去の成就者たち〔に献ずる〕。次に、自身の護法尊、大威力ある土地守護神 (*kṣetrapāla*) ならびに大鈴母などの地母神といった四十八の男女土地守護神〔に献ずる〕。さらにまた、八大尸林に住する護方神 (*dikpāla*)、ナーガを連れた土地守護神、インドとチベットの僧院の護法守護神、グルたちによって寺廟の守護に任じられた護法守護神、教法と教法をもつ人を守護し救護するすべての者、地居神に〔献ずる〕。三界の一切有情もまた守護尊として生起した上で献ずべし。

そこでまた、手の親指と無名指を結び口から逆立てて示す。グルに献じる時には頭頂から上方向に、曼荼羅に献じる時には自身の口に向かってだけ、護法神 (*dharmapāla*) 等に献じる時には与願印の手の作法で臍に向かってだけ献ずべし。次に、一切諸仏・菩薩を己の身体に引き入れて、甘露の享受によって七万二千の脈管すべてが甘露で満たされる。身中の一切の尊格と仏・菩薩を甘露で喜ばせ満足させてから、大楽身を莊嚴すると観想した上で、「Om 我は本性として一切諸仏の甘露の賞味を自性とする者なり」と唱えよ。この甘露の享受を伴う内供養は、ある経儀軌では讃歎の後に来て、ある〔経儀軌〕では讃歎の前に来るから、それぞれの経儀軌どおりに為すべし。

## II. 2. (4)〈秘密供養<sup>12)</sup>〉

第四〔の供養〕は、五肉 (五灯明 *pañcapradīpa*)<sup>13)</sup> と五甘露 (*pañcāmṛta*)<sup>14)</sup> を内供養の如く加持して頭蓋鉢に満たして、女尊たちが献ずと思念して献ぜよ。「Om すべての金剛を愛樂する者よ、すべての飲食を浄める秘密の金剛をもつ者よ、Hūṃ Phaṭ」と唱えるべし。

## II. 2. (5)〈讃歎供養〉

第五〔の供養〕は、それぞれのタントラと成就法の中で述べられた讃歎などを用いて讃嘆するのである。

## II. 2. (6)〈バリ供養〉

第六〔の供養〕は、そこで、『サンプタ』の中で、「闍伽の供養を始めとする恭敬〔供養〕と魚と肉などの食物ならびに酒 (*madana*) と酒精飲料 (*mada-notsuka*)<sup>15)</sup> を広げて、左には直ぐに必要なものすべてを、右には水の鉢、前面に闍伽の器、施物はこうしたすべてのものであり、五甘露で清浄と為せ」<sup>16)</sup>と言われてから、バリ (*bali*) の施物である肉と食物などを浄める。酒と酒精飲料を広げて喜ばせて、「さらに」の語は、牛乳と水などの上で五甘露によって浄める〔ことである〕と積されているから、羯磨金剛者が諸々のバリを酒と水と加持した内供物で浄めて頂礼して、「バリの加持と奉献の儀則を為して下さい」と〔金剛阿闍梨に〕懇願する。〔阿闍梨は〕それぞれの経儀軌で述べられたとおりにバリを加持する。出世間者のバリについては、前面生起させた曼荼羅がない場合には、バリの賓客を鉤召して、それぞれのバリのマントラで献ずべし。前面生起の曼荼羅がある場合には、バリの賓客は〔曼荼羅の〕側に鉤召せずに、前面生起〔の曼荼羅〕自体に献ずるのである。〔しかし〕あるグルは、曼荼羅がある場合にでもバリの賓客を鉤召し、曼荼羅に融化させてから奉献なさるのである。〔修法者の〕個人的な護法神への奉献はそれぞれの経儀軌どおりに献ぜよ。

三つのバリはそれぞれの経儀軌で述べられているから、一切生類のバリを廻向する。秘密集会の場合であれば、「Om 一切如来よ、Ja」云々であるか、ヘーヴァヅラの場合であれば、「Om インドラよ、Jama」<sup>17)</sup> 云々であるか、サンヴァラの場合であれば、「Om カ、カ、カーヒ (食え)、カーヒ、一切の葉叉よ」<sup>18)</sup> 云々、ヤマータカの場合であれば、「Om インドラに帰命します、Hrih」云々で献ずるとおりである。金剛四座では、四隅のバリを曼荼羅の尊に献ずべし。四方のバリは、東の天尊 (*deva*) に、北のナーガに、西の葉叉に、南の曼荼羅の尊と母神を伴った護方神に献ずるのであって、それぞれの経儀軌どおりに理解すべし。その場所の土地神については、土地神が誰であれ守護尊として生起した上で、A字は〔一切諸法の〕門なりと三反〔唱えて〕献じて御事業<sup>19)</sup>を懇願せよ。

次に、智薩埵に随行する眷属を曼荼羅の外境に住させてから、智薩埵を救護する者たちが修法の堂宇の外境に至ったところで、それぞれの経儀軌で述べられた一切生類のバリを儀軌どおりに加持せよ。飲食〔の納受〕を願い、バリのマントラを三反唱えてから廻向する。「いづこにでも仏と共に来臨なさる護方神の上首たちよ、誰であってもこの場に随行して住するこれら一切

の者たちよ、私が摂受されるために、適切な理に適う薫香や花などとバリを各自が納受せよ。有情と慈心を具える弟子にはヴィナーヤカが居ないように為し給え<sup>20)</sup>と Jayabhadra<sup>21)</sup> がお作りになったこの〔偈頌〕で廻向して懇願する。夜であれば、バリに灯を点し、バリを持ち込む三カ所に三文字を布置して救護を為した上でバリを撒け。忿怒尊のマントラと強い楽音で闇黒の方向へ妨害者たちを放逐せよ。洗浄して、阿闍梨が後を踏みつけて〔聚会の堂廟の〕中に入るに当たり、過不足の修復と開門と懇願を為すべし。自身の入住が得られるならば、この際に唱えるべし<sup>22)</sup>。

## II. 2. (7)〈聚会供養〉

第七〔の供養〕は、施主が各人の前で香曼荼羅を作る。聚会の資具すべてを曼荼羅の前に置くべし。花を握って前に住して、先ず発菩提心してから、「持金剛等のお方たちよ、御存念下さい。私の優れた財物をこの場に浄心の心で献じましたら、お気に入りのものは何でも納受し給え」と唱えて花を撒くべし。羯磨金剛者は、阿闍梨の前の頭蓋鉢から左手で甘露を掬って、聚会の資具すべてに撒いて混ぜ合わせる。サンヴァラの場合であれば、手供養をした手<sup>23)</sup>に〔持つ〕衣服の財物の諸々に、尊格の口から出た最勝と為されたものを付けて、資具のすべてを灑浄しながら、阿闍梨は Om Āḥ Hūṃ を唱える。「聚会の資具に加持し給え」と懇願せよ。

『サンヴァローダヤ』の中で、「軟食と硬食、同様に飲物<sup>24)</sup>や蒟醬 (*tāmbūla*) ならびに施物を施主に曼荼羅の前面に置かせるべし。その後ですべての物品を扱うのであり、羯磨金剛者である智者が、始めに鉤(肉)と混ぜ合わされた三昧耶〔食〕を普く配る。それらがすべて円満したものを阿闍梨に加持して貰うべし<sup>25)</sup>」と言われている。そこで、阿闍梨は浄めた資具を加持して、加持されたとおりのバリ〔の供物〕と為すのである。以上が聚輪の第一段落である。

「次に、聚会の阿闍梨が、ああ、大智慧者たちよ。大財物を燃やして煩惱を焼け。このような楽が得られてから全員が、ああ、楽よと唱えよ。次に、全員が斉唱して以下のマントラを唱えよ。〈A ho sukha prayanāṃ mahā-mudrāsiddhina prasathatanirtena Hūṃ ha ha ho〉<sup>26)</sup>」とドーンビヘルカが釈しておられる。次に、羯磨金剛者が全員の献食を集めてグルに献じる。『サンヴァローダヤ釈』には、「次に、食物などから献食を少しずつ少しずつ



各人が取り分けて、大鉢に注ぎ込んで聚会の中央に置き、天蓋と幢幡等で飾られた大バリを最初に献ずべし<sup>27)</sup>と述べられている如くに、すべての資具から集められた献食を天蓋と幢幡と飛幡等で飾りつけて、曼荼羅の上首から眷属に至るまでのそれぞれのマントラに Om Āḥ Hūṃ を付け加えて献ずべし。グル Rong pa<sup>28)</sup> の伝承により、『六面閻魔タントラ』<sup>29)</sup> から、「色・声などの六つ〔の法〕は、存在せず虚空の如くであるが故に、受用する境界では多として顕現するが、〔その有り様は〕水晶に対する顔料の如くである。五欲と諸法については、常に瑜伽を行ぜよ。A la la la ho 遊戯し給え。匂いを嗅ぎ給え。囚われることのない幻の如くに、舞踏で歡喜の遊戯を為し給え。明には障凝はなく、不動の如くに遊戯し給え。Ho 貪欲なきが故に貪欲を為し給え<sup>30)</sup>」と言って献ずべし。

次に、無上瑜伽では一切の尊格の部族を集める場合、三十六に撰集されるから、そのお方たちの上首である持金剛・阿閼・毘盧遮那・宝生・無量光・不空成就・般若波羅蜜母・金剛界自在母・仏眼・マーマキー・白衣母・多羅・地藏・金剛手・虚空蔵・世自在主・除蓋障・普賢・色金剛〔女〕・声金剛〔女〕・香金剛〔女〕・味金剛〔女〕・触金剛〔女〕・法界金剛女・ウシュニーシャ・チャクラヴァルティン・ヴィグナーンタカ・プラジュニャーンタカ・パドマーンタカ・ヤマーンタカ・スンバラージャ・忿怒母 (Khro mo)・暗青母 (sNgon mo, \*Nilā) あるいは虚空金剛母・善精進母 (Rab brton ma)・ジャンバナー (Jambhanā)・作我慢母 (nGa rgyal byed ma)・作硬直母 (Rengs byed ma)・極暗青母 (Shin tu sngon mo) といったその各々が眷属を伴った方たちのお口に Om Āḥ Hūṃ と唱えて献ずべし。

次に、三世間に住する土地守護神と過去の成就者たちに供物ならびに極上の色・声・香・味を献ずべし。次に、八大尸林に住する護方神、土地守護神、ナーガおよび二十四の地方に住する二十四の男女土地守護神に献ずべし。『心髓莊嚴』の中で、「このように所作を堅固に為してから、聚会の資財すべてを羯磨金剛者に集めさせて、燃え盛る火炎などで加持せよ。献食として相應しいものをよく考えて、最勝のグルたちを正しく供養せよ。次に、曼荼羅の上首等を次々に供養すべし。無上瑜伽タントラで述べられた三十六部族のすべての尊格を上首の名前を先にして、〈眷属もご一緒に〉と唱えて供養する。三世間に善住される過去の成就者すべてに対して花と極上の味で吉祥のために供養せよ。次に、土地守護神などの大供養をよく為す<sup>31)</sup>」とされている。

次に、羯磨金剛者が阿闍梨から開始して列に踞る参加者の全員に五供物の供養を「Om 金剛の花よ、Āḥ Hūṃ」等の五つ〔のマントラ〕と「Om 金剛の色よ、Āḥ Hūṃ」「Om 金剛の声よ、Āḥ Hūṃ」「Om 金剛の香よ、Āḥ Hūṃ」「Om 金剛の触よ、Āḥ Hūṃ」〔のマントラ〕で各人に献ずる。『(四座曼荼羅儀軌) 心髓集』の中で、「全員に薫香を順に献ずべし。全員に花などで供養すべし。すべての薫香を焚いてから全員に灯明を献ずべし。どんな場合でも、バリは全員の献食から捧げるべし」<sup>32)</sup>とされている。『心髓莊嚴』の中でもまた、「瑜伽者と瑜伽女たちに、まず花の供養を手始めとする現前供養をしてから、次に、色などそれぞれのマントラを読誦して順番どおりに献ずべし」<sup>33)</sup>とされている。

次に、尸林の飾りを着けた羯磨金剛者が、継ぎ目のない頭蓋鉢を酒で満たす。二手で先に蓮華回転印 (*kamalāvartamudrā*) を為して、五指を伸ばした右手の上に頭蓋鉢の額を反対側に向けて置く。左手は『四座註』の如くならば、親指で小指を押さえ、残りの三指を伸ばして三飛幡<sup>34)</sup>の印契〔を作る〕。あるいは『(四座曼荼羅儀軌) 心髓集』の如くならば、親指と小指を結び<sup>35)</sup>三指の尖端の印契で肉を少しばかり頭蓋鉢の上から覆って蓮華の八弁の姿に作り、「大印契なり」と言って、その印契で持つ。「この場では諸法を善法と見よ。存在もしない想念は捨てよ。バラモンと犬とチャンダーラは自性が同じとして食べよ。Om Āḥ Hūṃ A la la la ho」<sup>36)</sup>と行って差し出すべし。この偈頌は、阿闍梨アバヤ (*Abhayākaragupta*) が『アームナーヤマンジャリー』で、〔俗語を〕サンスクリットの言葉に翻訳して解釈している<sup>37)</sup>とおりであるから、これは正しいのである。註釈された箇所では、「見られる存在は〔自性〕清浄であるにもかかわらず、無であると思う分別を捨てよ。バラモンと犬とチャンダーラは共に本性を同じくするとして食べよ」と述べられている。受け取る者もまたその同じ印契を示して、「善逝の法は無比にして、貪著の汚れを遠離している。所取と能取を断じた真実に恭しく敬礼します。Om Āḥ Hūṃ A la la la la ho」と唱えて受け取るべし。阿闍梨クリシュナは、「〈瑜伽の際における成就については、普行 (*sañcārya*) は真実自体として、瑜伽者は普行し、楽の限りに行ずべし〉と唱えてから次の者たちに差し出す」<sup>38)</sup>と釈している。このように次から次へと巡って饗応していくのが印契の輪 (身の輪, *kāyacakra*) であって、第三段落<sup>39)</sup>である。

「皆さま方全員と聚会の導師はお好きにだけ楽しく行じ給え」と言って、

饗宴の資財を与える。それぞれに資財、同じように軟食と硬食と美味しいものおよびスープも各人に差し上げる。〔金剛〕阿闍梨には二倍に、他の全員にはそれぞれ等分に差し上げる。阿闍梨クリシュナは、「次に、全員の献食を集めて阿闍梨に差し出すべし。阿闍梨はそれを二分して、一つを左に置き曼荼羅に献ぜよ。他方は右に置いてA字〔は一切諸法の門なり〕<sup>40)</sup>〔のマントラ〕で護方神に献ぜよ。その際に、祝福を為すべし」<sup>41)</sup>と説いているけれども、儀則の実行に当たっては先の方が楽である。羯磨金剛者による饗応とは別に、自身が〔勝手に〕食物や飲物を取って享受してはいけない。〔参加者〕全員の臍より Ram字から〔生じた〕チャンドーリーの般若の火が煽られた中央で、胸に向かって Vam字から〔生じた〕蓮華の上に曼荼羅輪を生起する。金剛念誦の仕方秘密マントラを少しばかり読誦する。口は火炉、手は大勺と小勺〔と思念して〕、焼いた食物を財物の仕方で献じること智慧の尊格が満足し歓喜してから、身が莊嚴されたと観想するのは、心の輪 (cittacakra) であって第二段落<sup>42)</sup>である。

サンヴァラの場合には左手で食すべし。他の者たちに好きなだけ献ずる。酒は女性勇者が触れないのに他の者(男性勇者)がしてはいけない。肉は男性勇者が触れないのに他の者(女性勇者)がしてはいけない。全員共有の品に関しては、導師が触れないのに他の者がしてはいけない。各自の取り分を享受し終えてから、一緒に酒などの諸々を充分に享受する。自身の尊格の堅固な我慢を具えた者は、食物を甘露と神饌 (naivedya) であると思念するが故に、饗応する者も両手で差し出す。受け取る方も両手で取る。『五種三昧耶』の中で、「過失の器が受け取られるのであるから、魔を伴うが故にその鉢は早すぎても遅すぎても駄目であり、ヴィナーヤカ等の蔑視を断ずるために蓮華〔回転〕の印契で取るべきである。啜る音は出さず、散乱することなく、少しばかり飲んでから〔鉢を〕よく満たして、殊勝な頂礼で先の〔蓮華回転〕の印契で差し出せ。修法者は繰り返し彼ら全員に頂礼する。鉢は地面に置かれるか、または他の者に与えられる際に、手ににある種子を砕くべし<sup>43)</sup>。己が全部を飲むべきではない」<sup>44)</sup>とされている。

『心髄莊嚴』の中で、「尸林の飾りを着けた者が〈符牒の言葉〉と語る。勇者<sup>45)</sup>たちの享受のために、瑕疵のない男性の頭蓋鉢に酒をよく用意せよ。勇者たちの享受のために、左手の三〔指〕の尖端〔を結んだ〕印で大肉を上手に取って、右・左・上・下と為してから、以下の言葉で三昧耶をよく理解せ

よ。〈見よ、麗しい妙法を。これについて疑念を為すべからず。バラモンと犬とチャンダーラは自性が同じと覚って食せ〉。身語心の文字をそれぞれに唱えるならば、A la la ho を最後に付けよ。勇者は禅定を堅固に為しつつ、先に蓮華回転〔の印契〕をして、右・左・上・下に為して、以下の言葉で受け取るべし。〈貪著の染汚を遠離した無比なる善逝の法は、所取と能取を断じている。その真実に頂礼します〉。三文字を唱え上げて、導師が許可を与えてから、勇者と瑜伽女たちは自分の享受するものは何でも各自がよく享受してから、その後、全員共有の品と一緒に〔享受する〕。酒は女性勇者が扱わなければ男性勇者に取り分はなく、肉についても同様で男性勇者が〔扱わなければ女性勇者に取り分はない〕。順番どおりに為すべきである<sup>46)</sup>とされている。

「符牒の言葉」<sup>47)</sup>とは、『サンヴァラ』の中では、男はda、女はdī<sup>48)</sup>などである。『サマーヨーガ』の中では、traṃ traṃは肉、śraṃ śraṃは血などと詳しく出ている<sup>49)</sup>けれども、チベットでは『ヘーヴェヅラ』で述べられたそれ<sup>50)</sup>がとても有名であって、madana は酒、bala は肉、集会は malayaja、有情は kheta、屍は śava、骨の飾り(人体)は niraṅsu (*niraṃśuka*)、やって来ることは phemkhana と言われる。ダマル太鼓は krisita (*kṛpīṭa*) と言われる。福分のない輩は dura (*duṅdura*) と説かれ、福分者は kaliṅjara と言われる。不可触民は diṅḍima と言われる。頭蓋鉢は padmabhājana、食物は trisita (*triptikara*) と言われる。野菜は malātrindhana (*mālatindhana*)、糞便は catubhāma (*catuḥsama*) と言われる。尿は kushuri (*kasturikā*) と言われる。血は sihya (*sihlaka*) と知るべし。精液は gapura (*kapūra*) とされている。大肉は śaliya (*śāliya*) と言われる。二根交會は kunduru、金剛は bola と説かれる。蓮華は kakkola とすると説かれている如くである。これら符牒の言葉〔について〕は他のタントラの流儀によると、三昧耶をもつ男女瑜伽者の集會の内では符牒の言葉で話すべきであり、話さない場合は墮罪になると説かれている。『カーラチャクラ』では、「三昧耶を持たない集會の内では、他の者には分からないようにするために符牒の言葉で話すのである。符牒の言葉もまた肉は〔māṃsa の〕 ma、酒は〔surā の〕 su という具合に、それぞれの〔ものの〕名前は、最初の文字による暗示 (*prastāva*) で知るべきである」<sup>51)</sup>とされている。次に、阿闍梨は甚深の法を専念して説くべし。次に、勇者と瑜伽女たちに対しても、「施主の資糧積聚のために甚深

の法を説き給え」と勸発せよ。各人から甚深の法が説かれるのは正法なる語の輪 (*vāccakra*) である。

## II. 2. (8)〈真実供養<sup>52)</sup>〉

第八〔の供養〕は、施主が自分の妻あるいは別の美しい女性を阿闍梨に献じて懇願すべし。阿闍梨はすべての尊格を三昧耶に住させるために、幔幕の内で『愛欲論』<sup>53)</sup>の中で述べられている如き交會に熟達した技を用いて印契女と等至の瑜伽を為す。俱生の般若を兩人が取って、随貪欲の我慢を受持するのである。放出した時には、樟腦 (*śukra*) を舌で取って賞味しながら他の者たちの舌の上にも与よ。このように他の者たちもまた等至した己の甘露 (菩提心) を口にして樂を正しく證知すべし。〔このような次第で〕心の樂が生じるのであり、心の輪である。

成就できない時には、藥草と油液を胸に塗ってゆっくりと心地よい快樂に心を委ねる。ドーンビヘルカが、「藥草と油液を胸間に塗ってから、ゆっくりと少しずつ心地よく為すべし。それもまた心の大樂であり心の輪と定まっている」<sup>54)</sup>と言っている。その際に、己の部族の印契女が肢体不満足など侮蔑される者であったとしても忌避してはいけないのであり、忌避すると〔金剛乘〕十三根本墮罪となる。肉と酒と等至の三つの供養が満たされなければ聚輪は成立しない。『心髓莊嚴』の中では、「味の享受を極めてから後、離貪欲の世間法を放棄して、『愛欲論』の中で述べられているように双方の享樂によく住して、互いに三昧耶を話題にする。喜びの心で〔聚會に〕やって来た者を忌避すれば〔金剛乘の〕根幹への違犯となるから努めて三昧耶を憶念せよ。〔肉と酒と等至の〕三つの享受がなければ聚輪の所作とはならない」<sup>55)</sup>と言われる。『アームナーヤマンジャリー』の中で、「この場で、もしグル以外の者たちに般若母が居なければ、その場合は、勇者の饗宴 (*virabhojya*) とは言われるけれども、聚輪ではないのである。グルに対しては勇者の饗宴の場合でも、印契女は必ず献じられるのであり、〔それは施主の〕福德増進のためである」<sup>56)</sup>と言われている。そのことは女性勇者の饗宴 (*virābhojya*) においてもまた同様であると『サンヴァラ註釈』の中で積されている<sup>57)</sup>。『五種三昧耶』では、「その者も自身の明妃を抱擁すべし。出来なければ禪定で為せ」<sup>58)</sup>と言われ、「相応しいものを何も獲得できない者、〔己は金剛乘の〕器ではないと恐れる者も五甘露と五肉を禪定により十全に作るべし」<sup>59)</sup>と裁量

が言われている。そのことはすべての場合に大事であって、比丘や沙弥たちの場合もそれによって理解すべきである。

## II. 2. (9)〈金剛歌と舞踏の供養〉

第九〔の供養〕は、『サンヴァローダヤ』の中では、「〈楽の限りに〉と唱える三つの偈頌<sup>60</sup>で讃歎し思いのままに頂礼すべし。自身が愉快に欲するままに kilikila の大喜悦を為し、様々な花で供養し身体を華鬘で飾る。酒の宴を喜び、金剛歌を歌い満足して、最勝の歓喜で踊り、印契とマントラで舞踏する。pīṭha の徴を具えた足の舞踏は、paṭaha 太鼓や ḍoṃḍu<sup>61</sup> 太鼓など、太鼓<sup>62</sup>と螺貝<sup>63</sup>などの音色、様々な心が躍る楽器の響きを伴って、吉祥なるヘルカと等しい者(勇者)〔は右に立ち〕、左に〔立つの〕は最勝の瑜伽女である<sup>64</sup>との意味である。聚会の導師から「楽の限り歌と舞踏と音楽を為せ」との許可を得る。曼荼羅の本尊に対してカーラチャクラの場合であれば、「無始無終にして中間もないお方に」<sup>65</sup>などである。あるいは秘密集会の場合であれば、「阿閼金剛よ、大いなる智慧〔をもつ者〕よ」<sup>66</sup>などである。あるいはヘーヴァジラの場合ならば、「汝は瑜伽女の集団を普く転ぜよ」などである。あるいはサンヴァラの場合であれば、「瑜伽の一味の甘露を飲んだ清浄の心」云々などそれぞれの曼荼羅の本尊を讃歎する耳に心地よい六味を具えたものなどを唱えてから、グルに頂礼する。あらん限りの五〔妙〕楽を具えた者、聖仙、grāmarāga 等<sup>67</sup>の心地よい歌で金剛歌を唱うのである。『〔四座曼荼羅儀軌〕心髄集』の中で、「金剛杵と鈴の音をもつ者が真実の歌を唱うべし。解脱の妙楽である最勝の悲で荘嚴された楽に遊戯すべし。貪欲の快樂で飾られた忿怒で争論を断滅されよ。空性と観じて食べるものと食べないもの〔の差別〕を断じ、有情を普く済度するために怖畏の姿で遊戯すべし」<sup>68</sup>とされている如くである。あるいは『アビダーナ最上〔タントラ〕』の中で、「忿怒の楽に喜悦し、楽の享受から生じた楽の降下に相応して、殊勝に優れた「愚昧」なる者が説示を為す。大楽の楽の舞踏で遊戯すべし。最勝なる瑜伽女よ、蓮華の楽よ、A la la la la ho 歓喜する者たちの最勝楽である最勝の瑜伽女を供養されよ。A i a a ra ho 歓喜の尊主よ、歓喜に趣入させ給え。ダーキニー網の楽を与え給え。歓喜の楽を与え給え。息災の舞踏で舞踏を為すお方よ、我に大楽の楽を与え給え。解脱の標幟をもつ汝よ、A la la la la ho 楽を離れては解脱できない。楽がなければ苦のせいで解脱はできない。

その樂は蓮華の中央に住する。貪欲の存在によっても汝は不壊である。大樂によって解脱させ給え。蓮華の増益の味で蜂の如くに満足させ給え。以上〔偈頌〕で尊主を勧発してから、曼荼羅において必ず成就する。讚歎しつつ、文殊による春の王の歌<sup>69)</sup>を唱って、無垢のダーキニー網によって観ながら、すべての行為を為す<sup>70)</sup>と〔唱える〕。あるいは、ヘーヴァジラの場合ならば、〈kollairi ṭṭhia bola mummunire kakolla ghaṇa kisi bhajjai karuṇe kiai ṇa rolā tiham bala khājjai gādham maanā pijjai hale kaliṅjara paṇiai du ndu ra vajjiai causama kalthuri sihla karpura lāiai mālaiindra ṇa śālia tahiṃ bharu khāiai praṃkhaṇa kheṭa karante śuddha aśuddha na maṇi ai niraṅśu aṅga caṭavi atahi ja sayara bi pāniai malayaje kunduru baṭṭaidiṇḍima trahiṃ ṇa vajjiai<sup>71)</sup>と唱えるか、あるいはまた、それがチベット語に翻訳された「オーイ、kolaに住する金剛とmumuの蓮華の集会は、不断に小太鼓の音が鳴り響き、悲〔を為すのであって〕争論はない。集会では専心して肉を食う。昼夜に酒を飲む。オーイ、三昧耶をもつ者はやって来い。三昧耶をもたない者は去れ。糞便と麝香（尿）と経血と樟腦（精液）と人肉を混ぜ合わせたもの<sup>72)</sup>（cāru）を集会では絶えず食す。清浄と不浄を見てはならず、肢体を骨の装飾品<sup>73)</sup>で飾りつける。舞踏を為して鼓舞し、その場で生じた歌で入住する。集会には不可触民も拒まれることはなく、〔五〕種姓や出自を〔一つに〕結びつけることで受け入れよ」と唱えるのである。先の四パーダ（pāda）の終わりに選択した〔金剛〕歌の終わりの二〔パーダ〕を一緒にして唱うのである。インドの言葉で、〈kollaire ṭṭhia bola mummunire kakola〉と言った続きに、〈malayaje kunduru baṭṭaidiṇḍima trahiṃ ṇa vajjai〉と男女の瑜伽者が言って唱うべし。チベット語に翻訳した場合ならば、「kolaに住する金剛とmumuの蓮華の集会」と言うのに続いて、「集会では性交して住す。集会には不可触民も拒んではならない」と言って唱うべし。同様にして以下に続く箇所についてもまた繰り返せ。話すことと唱うことに巧みな者が居ないとしても、〔誰か〕一人が唱うか、あるいはこのように斉唱するのである。現在、ヘーヴァジラの作法を為す者たちは歌唱を知らないと思われるから、それが分かれば〔よい〕と書いてしたのである。

「この金剛歌は残滓のバリを撒く前に唱う」と広大にタントラと諸々の経儀軌で釈されているので、この際に唱う。歌い終わって、最勝歡喜〔に住す〕と思念して自身の本尊のマントラを唱えながら、自身の本尊の印契を解

いて、pīṭha の特徴である足のポーズで pīṭha などと同数の足勢 (*padavikrānta*)<sup>74)</sup> [を為せ] と言われているので、根本の五つの足勢と未決定の七つの足勢で十二の pīṭha と同数の足勢を為す。また男性勇者が展右する時には、女性勇者は展左などを為すのである。[その際に以下のマントラを唱える]。  
 〈Ara ara jḥom jḥom smara smara caṭa vaṃ hoḥ caṭa vaṃ hoḥ hulu hu lu hūṃ jaḥ hūṃ jaḥ ala ala huṇu huṇu hram hram hutam ghai ghai ghai ghai taṭa ghai ghai ghai ghai ta ghai ta hondo hondo hūṃ ka ka ka kūṃ kūṃ kūṃ kūṃ kūṃ kūṃ vaiṃ vaiṃ kaiṃ vajra vaṃ jriṃ jriṃ jriṃ vaṃ kai kai kai kai hūṃ bhyo bhyo bhyo rulu rulu rulu hūṃ bhyo bhyo bhyom〉

このマントラで種々の楽器や *paṭaha* 太鼓などの様々な打楽器を浄めながら加持する。自身の尊格の装束を着けて歌詞と旋律を知った者が [楽器を] 奏でるならば、四倍となる<sup>75)</sup>。演奏しないでも、飾っておくだけで微細な事業 (*karma*) が成就すると『サマーヨーガ註』では積されている<sup>76)</sup>。チベットのラマたちは、演奏そのものはなくても、その装束を着けて歌詞を唱えるだけでも成就すると説くのである。

このように歌唱と舞踏を不断に為すことによって、ダーキニーがやって来た徴である大蒜や禿鷲や樟脳や梅檀の匂いと野鴨や蜂やジャッカルの鳴き声が生じる<sup>77)</sup> と『五種三昧耶』で積されている。『行合集灯』の如く、「心が疎かにならないよう相互に楽しませる所作として、次の順番で仏の音楽を為すのであって、[それは] 印契と印契の返答と、頂礼と頂礼の返答と、供養と供養の返答と、舞踏と舞踏の返答と、歌と歌の返答であり、身振りの符牒と言葉の符牒によって会話するのである」<sup>78)</sup> と言われる。男性勇者たちが、自身の三昧耶の印契、あるいはそれがない者たちは大印を示すのが印契である。女性勇者が示すのは印契の返答である。あるいはまた、男性勇者が金剛の印契を示し、女性勇者が返答として鈴の印契を示すなど、方便と般若の両者のやり取り<sup>79)</sup> を算えて為すべきである。

供養する際には、男性勇者は、「我は妙適なり」と言って自身の本尊を随念した上で、金剛心の我慢で「汝は妙適なり」<sup>80)</sup> と唱えるのが供養である。女性勇者は、「汝は三昧耶なり」と言って自身の五部族の尊格を随念した上で、「我は三昧耶なり」で金剛薩埵を随念せよ。「私は愛欲します」と言うのは、金剛薩埵を成就する者に対する供養の返答である。また他の同様な場合につ



いては、毘廬遮那を成就する者には「私は覚知します」。ヘールカを成就する者には「私は随喜します」。蓮華舞自在を成就する者には「私は愛欲します」。最勝馬を成就する者には「私は貪欲します」と言うのが返答である。

同様に、男性勇者が舞踏と歌唱を為せ。女性勇者がするのは舞踏と歌唱の返答である。このように、供物と資財を満足して享受すべし。食物に難癖をつけてはならず、手にした食物と飲物は何であれ多くを口にせよ。器を空で置いてはいけない。食物を敷物のない土の上に〔直に〕置いてはいけない。聚会の上首に対しては器は二つ、他の者にはそれぞれ〔一つである〕。サンヴェラの如くであれば、全員が一つの器で食べよ。器は表面まで一杯に満たしてはいけない。差し上げる者と受け取る者はすべて両手で差し出し、両手で受け取るべし。聚会の導師に対しては、差し上げる際と受け取る際には頂礼すべし。出て行く際には、聚会の導師に向かって頂礼してお伺いする。入って来る時には頂礼せよ。さらにまた、所作についてのすべての質問は頂礼してお伺いすべし。威儀<sup>81)</sup>を具足するために出る必要が生じた時には邪魔してはいけない。他に所用が出来たので出て行く必要がある時には、了解してもらい、容赦を願ってから行くべし。争論が生じた時には追放する。追放できない時には、放置しておく。導師が指図しないのに敷物に坐ってはいけない。〔許可なく〕歌舞や音楽と問答や邪論をしてはいけない。足を伸ばして坐ってはいけない。正しくない体勢で坐ってはいけない。食物や飲物と男女瑜伽者に対して貪著してはいけない。畏怖と憂慮と羞恥と淨不淨の分別と善悪の分別と謙遜を為すべからず。男女瑜伽者を恭敬せず誹謗を投げかけてはいけない。行の禁戒を保つ者を恐れはいけない。食物に対する貪りと執着と〔を断じ〕上等だからという理由で食べてはいけない。騒々しい会話と声聞の学処とチャンダーラや売春婦の話をしてはいけない。煩惱の心を起こすべからず。初学者 (*ādikarmika* 初業者) もまた念住して、いかなる行為も不正にしてはいけない。食物で身体が浄められず、バリが撒かれない間は外へ出るべからず。お伺いもせず、廻向と誓願を為さない間は横臥してはいけない。施主もまた食物と飲物で満足できない宴に招待してはいけない。招請した者たちを食物で満足させよ。相互に争論と擲揄を為すべからず。何処に住しても参加者全員が秘密の威力<sup>82)</sup>で行ずべし。

『心髓莊嚴』の中で、「グルが許可していないのに歌唱と舞踏などを為すべからず。出された限りの供物と資財に満足しないで、無意味なお喋りによ

て、何であれ決して苛立った心を作すべきではない。〔それを〕すると地獄等の果を得ることになろう。供養の際に誹謗すれば叫喚地獄〔を得るの〕であり、〔飲食に〕貪著すれば餓鬼になること必定である。己の禪定を捨ててしまえば畜生の境涯に落ちるが故に、思念をよく堅固にして身語心金剛と三地をよく供養すべし。バリが撒かれぬ限り、輪の外に出てはならない。何かにつけ勇者と瑜伽女が満足できないならば、彼らを招待してはいけない。何かにつけ満足しなかったならば、その場で福德を消滅させてしまう。従って、何事においても瑜伽者を食物などで満足させよ」<sup>83)</sup>とされる。

「食物と飲物は、極めて空腹であったとしても自ら取ってはいけない。争論などを為す者は誰であれその場から追放せよ。あるいは追放できない時は、罪過を観察して、自身が他の場所へ行くか、あるいは話をせず止住すべし。羯磨金剛者が飲物などを自ら手にしても罪過はない。威儀の赴くまま外に出る場合はその者を止めてはいけない。増上慢と瞋恚から他の参加者を侮辱すること、好くない言葉で腐らせること、争論となる会話や不快なことも断ずべし。違犯してしまった時には、根本墮罪と粗罪を速やかに修復する儀則を為せ。それは補完する儀則として知られる。満足した金剛阿闍梨は〔儀礼の〕中間においてバリを与えよ。途絶えることのない歌唱と舞踏などは〔阿闍梨の〕お言葉で許可すべし。グループの集会における所作として手足等は慎みを保つべし。手に負えない放逸の原因となるから飲物は余り飲んではいけない。』<sup>84)</sup>

「どのような身体の動きであれ、口から出た言葉であれ、それはマントラと印契であって吉祥なるヘールカの位に住する。何の毒であれその僅かな量でも人間たちは死に到る。〔しかし〕その毒の性質を知る者は毒によって毒を断つのである。他に所用があるから長時間留まることができない者がおれば、その者は頂礼して事情を知ってもらい、容赦を願ってから立ち去るべし。あれこれのタントラが説いている諸々の所作を優雅に為すべし。どんな理由であれ性急に為したことで瑜伽者の喜びを損なってしまう」<sup>85)</sup>と『五種三昧耶』で言われている。

この際に、浄化・燃焼・観察を為す力がない比丘と沙弥や初学者たちは、聚輪の場では、三昧耶の財物である五肉と〔五〕甘露から作った白辛子〔の実〕大の丸薬 (*gudikā, gulikā*) に依止するだけにして、それ以外は享受すべきではない。声聞の学処を如実に遵守すべし。聚輪に集まると言われてい

るのは、瑜伽者の位が得られ、浄化・燃焼・観察の威力が得られ、酒を牛乳に変え、肉を *patrakeśa*<sup>86)</sup> に、糞便を *catuḥsama*<sup>87)</sup> に、尿を麝香に変成させる等の威力が身について、他の者の不信を転換できる者を意趣しているのである。

『サンヴェラ註釈』の中で、「いかなる時にも、灌頂などの日中における所作の三昧耶は慎重に隠して行いながら、後は、妙勝なるグルたちが善男子 (*kulaputra*) たちには閉ざすべし。比丘たちについては、灌頂の時あるいは布施の際に〔聚輪を〕行ずべきではない。出家者たちには、グルが自らの言葉で一切を善巧に教示すべし。他の方途ではグルは三昧耶への違犯となる。彼らには、大乘に心を生起させて、身と語の正しい統御 (*saṃyama*) を授けよ。声聞の学処どおりに如実に身と語によって守護すべきである」<sup>88)</sup> と言われている。

### III. 随行

第三〔の随行〕は、施主の所願〔成就〕の懇願、施物を献ずる廻向と誓願の所作、施主に対する吉祥の詠唱、生類に対するバリ〔の撒与〕、曼荼羅の摂受、堪忍の懇願と帰還の奏上である。

#### III. 1.<施主による所願成就の懇願>

〔以上の〕六つの第一は、施主に息災と増益などの事業 (*karma*) は何が成就したいのかと訊ねる。言われた所願に相応した事業の実践と関係する行法を先の三摩地修習の時にも為したが、この場でもまたそれに相応しい事業が成就するように懇願し加持する。「誰某の曼荼羅の尊格の集団すべてによって、施主誰某の罪過と障凝を身体と命と財産と福分と善行を成就するまでは断じて、病と魔とヴィナーヤカの災厄と一切の障凝を息災と為し給え」と言うのと、「誰某の一切の罪過と障凝を息災と為し給え、*Svā Hā*」。同様に「一切の障害と墮罪と障凝を息災に為し給え、*Svā Hā*」と唱えるのである。同様に増益と敬愛などについても方軌を増やすべし。『サンヴェラローダヤ』の中で、「施主が心に願う息災と増益の事業は何かと尋ねた上で、成就の因として願う事業が何であれそのとおりに加持せよ」<sup>89)</sup> と言われている。

#### III. 2.<施主による施物の奉献と廻向と誓願>

第二は、『サンヴェラローダヤ』の中で、「施主が懇願して、曼荼羅の前で胸

に合掌し、誓願と廻向のすべてを為すべし<sup>90)</sup>とされている如くに、施主は聚会の導師と曼荼羅の前に香曼荼羅を献じて頂礼せよ。全員に対し施物を、聚会の導師とその明妃には最勝の施物を献じて、曼荼羅には花を献ずべし。手に花を握り金剛合掌を胸に縛して、跪坐して廻向と誓願を為すべし。施主も〔その文言を〕知っておれば自らが言う。「持金剛を始めとする尊格たちよ、御存念下さい。貴方には信心から供養の品々を献じましたから、私と余すところなき一切有情が輪廻の苦を断じて、大楽の持金剛である勝者とならんことを<sup>91)</sup>〔と唱える〕。知らない時は、聚会の阿闍梨の後から唱えよ。

阿闍梨もまた、ドーンビヘルカが、「その者に仏〔位〕が獲得される因は福德と智慧の資糧であり、資糧の故に最勝の成就となる。その故に不断に資糧を積聚すべし。智慧〔の積聚〕は現観〔によって〕であり、福德〔積聚〕の種類は多いとしても、自身の尊格の輪において〔享受する〕五妙楽を用意するのが最上である<sup>92)</sup>」と言っているとおり、聚会での布施の偈頌を少しばかり先に唱える。「今やこの聚輪を転じた善根を根幹にして、三時に積聚した善根に依って、一切有情に大持金剛位が速やかに獲得できるように為し給え」と唱える。「グルと持金剛を始めとする守護尊の曼荼羅輪の勇者と瑜伽女の全員よ、私を御存念下さい」とチベットのグルの常の作法の如くにか、あるいは「毘盧遮那と阿閼と最勝宝と世自在主と不空成就を始めとする仏と大菩薩たちよ、十全に私を存念し給え<sup>93)</sup>」と言う『四座成就法』の中で述べられている如くにか、あるいは『サンプタ』の中で、「一切諸仏・菩薩よ、私を御存念し給え<sup>94)</sup>」と先ず唱えてから、先の言葉と同じものであるか、あるいはまた「一切有情が楽になりますように。一切有情に罪過がなく、いかなる道でも解脱して仏位が獲得できますように。未だ済度されていない者たちを済度し給え。未だ解脱していない者たちを解脱させ給え。瑜伽と論典の所作に今すぐに正しく結びつけ給え<sup>95)</sup>」と述べられている如くである。

あるいはカーラチャクラの如くであれば、「まさしく太陽を伴って〔牟尼の種姓が〕」などと唱えるか、あるいは「この〔カーラチャクラの〕功德によって三有に住する有情たちに無上菩提が獲得されますように<sup>96)</sup>」と言う。あるいはサンヴァラの如くであれば、「私が三時の善行を何であれ為し、無辺なる虚空の有情たちが無上の大乘の器となり、すべてが持金剛を自性とする者となし給え<sup>97)</sup>」と言って、辺際に至るまでの仏に廻向したところで住位の誓願〔を為すのである〕。サンヴァラの如くであれば、「女尊は真理の基準なり。

三昧耶は真理の基準なり。そのお方〔たち〕によって語られた言葉もまた最勝の真理の基準なり。その真理によって、かの女尊たちよ、私に摂受の因とならんことを。輪廻と同じく涅槃への貪著を克服し、一切の妄分別を克服された汝はすべての存在を虚空の如く照見するお方であります。尊主よ、深い悲愍を滋養の水で潤した御心の水で為し給え。女尊たちよ、私に深い悲を為し給え<sup>98)</sup> と言う。

あるいはまた、Bhūri pa の『〔チャクラサンヴァラ〕常住懺悔』の中では、「生まれ生まれて、何処にあっても慧を具え、よい部族〔に生まれ〕、慢心はなく悲を具え、グルを信じ、チャクラサンヴァラの三昧耶に住させ給え<sup>99)</sup> などと言う。あるいは『ヘーヴァジラ』の中では、「部族に生まれて三昧耶をもち、狂気はなく、ヘーヴァジラ〔の教説〕を宣説し、グルを恭敬し、悲を具する者に生まれ生まれさせ給え。手には金剛杵〔を持ち〕、鈴を鳴り響かせ、甚深の法を説き、女性の愛液を摂取する者に生まれ生まれさせ給え<sup>100)</sup> と言うようなそれぞれのタントラと聖者たちがお作りになった文献の中で述べられている住位の誓願で廻向と誓願を廣大に為した上で、施主に向上心を起こさせる。「ああ、大有情である汝よ。諸仏は今日、汝をよく存念しておられる。仏位が獲得されるのであるから、大いなる果を思慮し信念をもって精進せよ<sup>101)</sup> と語るのである。

### Ⅲ. 3.<施主に対する祝福>

第三は、『サンヴァローダヤ』の中で、「その後で、聚会の檀越である施主の善心に対して、瑜伽者と瑜伽女が集まって最勝の祝福を与える<sup>102)</sup> と述べられているので、その場に集まった勇者と瑜伽女の全員が即座に施主に対する祝福を懇願する。「〔善心をもつ施主に〕楽が正しく具足し、病はなく、愛欲 (*kāma*) と解脱 (*mokṣa*) 等が正しく獲得されるように。円満具足するよ<sup>103)</sup> および「布施などの一切によって有情が最勝の所願を円満し、吉祥なるヘールカとダーキニーが一切の妄分別と癡の都城を粉々に破壊されよ。誰であれ輪をよく転じる者には、グルや勝者に生じる智慧を完成させ給え。それは大悲の自在者である聖者たちの恒常にして速やかなる吉祥である<sup>104)</sup> との『サンヴァローダヤ』で述べられた二つの偈頌〔を唱える〕。あるいはカラチャクラの如くならば、「どなた方であれ天界で<sup>105)</sup> 等の吉慶である。あるいは所作タントラ『大千母善摧』に出る「この世間ならびに<sup>106)</sup> 等〔の祈願

である。あるいはまた、タントラに出る諸々の吉祥の偈頌で施主に対する祝福を廣大に為すべきである。

### Ⅲ. 4.<バリ供養>

第四は、アバヤが、「バリは最初と中間と最後に与えるべきである」<sup>107)</sup>と述べており、『五種三昧耶』の中で、「グルが最後のバリを与えるべし。同様に外に残滓のバリを」<sup>108)</sup>と述べているので、出世間の曼荼羅の眷属と世間〔の神々〕との二つのバリをバリ儀軌どおりに与えよ。『サンヴァローダヤ』の中で、「残滓のバリを集めてから生類と残滓を喰らう者 (*ucchuṣma*) たちに与えるべし」<sup>109)</sup>と言われている。食物と飲物の残余に詠唱は適切ではないから、すべての残滓を一カ所に集めて献食と混ぜ合わせて阿闍梨の前に置く。阿闍梨は「口を酒で満たして、火焰の印契を口の方に置いて、Om Āḥ Hūṃ Phat と Hūṃ の大音声で口から霧と散じる。薫香と花などの供物で供養して、Om すべての者よ、カ、カ、カーヒ (食え)、カーヒ、残滓よ、残滓のバリを喰らう者よ、Bhyoḥ Svā Hā」<sup>110)</sup>と『サンヴァローダヤ』で述べられている如くにする。

あるいはまた、『四座曼荼羅儀軌心髓集』の中で「金剛鈴の音に合わせて、勇者の残滓でバリ〔の器〕を満たす。無自性の心で口を一杯に満たすべし。願う事業を思念してバリの器に撒け。Om 為せ、為せ。尊師よ、尊師よ、大尊師よ、成就の宝庫よ、尸林に棲む者よ、プレータ鬼の顔をした者よ、牙を剥き暴悪な血を好む女よ、三昧耶を守護するヨーガンバラよ、キリキリと叫ぶ女よ。悪鬼の集団を伴って墓場の中央に住する牙を剥き暴悪なドゥーマンガーラよ、納受せよ、食え。三昧耶の尊よ、趣入して制圧を為せ。Hūṃ 掴み取れ、掴み取れ、すべての難調なる者よ、喰らえ、喰らえ、Ho Phruṃ Phruṃ Phruṃ Phruṃ Phat Svā Hā」<sup>111)</sup>。二手で金剛拳を縛してから、人差し指と小指<sup>112)</sup>を起て、尖端を少し曲げて口の隅に置け。残滓のバリに対しては、「Dud pa'i sol ba mo (\*Dhūmavati) よ」と言うマントラと印契〔を用いるの〕である。最勝なる尸林と岩場や独樹と大河の岸边〔において〕、五供物を持つ者が供施の弾指を三返弾くべし」<sup>113)</sup>と説かれている如くである。

このように、それぞれの経儀軌の中で述べられた儀則によって、残滓のバリに灯を点けて、バリを岸边などで撒くのである。クリシュナは、「男女瑜伽者の残滓は、外境の食肉鬼 (*piśāca*) 等に外門で追放して撒け。施主である

在家者の残滓の場合には、その者自身が非人に対して廻向せよ。このように福分がない者に対しては、阿闍梨の口から甘露にして吐き出して与えよ。バリを運び出して戻ってから、聚会の祠堂の門で鏡を示し、螺貝〔を吹き〕、乳粥で供養する。中へ入って、男女瑜伽者に対しても同様に献ずべし<sup>114)</sup>とやっている。〔しかし〕儀則の実行に際しては先の方が楽である。ダマル太鼓を打ち鳴らしてダーキニーの名前を呼んで Phreñ Hūm と唱えるのは残滓のバリに固有の儀則ではない。

### Ⅲ. 5.〈曼荼羅の揆遣〉

第五は、『サンヴァローダヤ』の中で、「広観した曼荼羅の類は儀軌が述べるとおりに摂受せよ」<sup>115)</sup>とされているので、それぞれの曼荼羅儀軌の中で述べられているように曼荼羅に対して感謝の供養を為せ。願う利益を懇願せよ。百字〔真言〕で過剰を断じ不足を補って、過誤の許し乞うべし。曼荼羅の尊格に帰還を願うべし。標幟を集め、顔料を集め、善行を廻向せよ。諸々の祝福の詠唱は各自の経儀軌で知るべし。

### Ⅲ. 6.〈堪忍の請願と帰還の奏上〉

第六は、「招請した勇者たち全員が大衆に赴く」<sup>116)</sup>と『サンヴァローダヤ』で言われているので、勇者と瑜伽女全員が供物を集めて、標点を拭って立ち上がる儀則で起立する。例えばサンヴァラの如くならば、自身が一面二臂の父母尊として起立し、三つの甲冑で守護せよ。弾指を四方に投げ降ろしながら振って払子のマントラで守護し三歓喜を具えて立ち上がるように、他の場合でもそれぞれの経儀軌どおりに為すべし。施主は供養の財物が些少だと堪忍を願うべし。与えられた者は、「大いに恵み深き施物です」と唱えながら大利益を成就した思いで歓喜を修習せよ。男女瑜伽者は随喜の思いで歓喜を修習して散会するのである。『心髄莊嚴』の中で、「慳貪はなく喜びからバリをよく与えて、願う事業をよく観察すべし。百字〔真言〕で堅固と為して、淨信から願う功德のすべてをよく懇願せよ。先に堪忍を乞い全員にも帰還を願うべし。福德を普く廻向し、歓喜してよく住すべし」<sup>117)</sup>とされている。

### Ⅳ.〈付則（ドーンビヘールカの教誡）〉

それらの得失を説明しよう。阿闍梨ドーンビヘールカが『瑜伽者と瑜伽女の不

共儀教誡』の中で〔以下のように述べている〕<sup>118)</sup>、「狂笑尸林という所で、Muñja madya<sup>119)</sup> 王という名の方が施主となり、阿闍梨ドーンビヘールカなどの無数の集団が集まって聚輪を転じた。その際に、バラモン Dirabhadra が阿闍梨に尋ねもせず敷物から立ち上がって外に出たので、瑜伽者たちは慎みを欠いた輩だと考えて、外に追放し〔再び〕聚会の祠堂には入れなかったのである。そこで、阿闍梨ドーンビヘールカは瑜伽者たちに宣説して、ああ、この大乘不共の道（金剛乘）に住して以後は、三昧耶と禁戒に違犯すべきではない。それはまた、『瑜伽女の普行タントラ』の中で、「灌頂を得てからは三昧耶に違犯するなかれ。聚輪は閑静な場所で転ずべし。所作のすべてがヘールカを自性とするのであり、理趣でない行為を抑制せよ」<sup>120)</sup>と述べられている。ああ、瑜伽者たちによって争論の場となった場合でさえも、〔聚輪は〕一生涯で大印契の悉地が獲得できる最勝の方便となる。これらの聚輪を享受している者は、不共の福德の威力の故に成就するからである。ああ、持金剛者たちよ、歓喜を為せ。これら妙勝の輪といえども、一般の居住地で転じてはいけない。市場は避けるべし。〔住民が〕浮薄なる町とバラモンの家と王の宮殿とヴァイシュヤの家と僧伽藍 (*saṅghārāma*) と蛮人たちや慎みのない者たちを遠離すべし。外教徒の都城と荒野と凶暴な猛獣が徘徊する場所をもまた避けるべきである。ダーキニーが徘徊する場所や荒れ果てた町外れや人の近寄らない所や〔母神の〕祠堂や尸林や空の洞窟や樹下あるいは森林の中に開いた空き地において、三階建ての聚会の祠堂を建てて、聚輪または勇者の饗宴を為すべし。これら〔の特徴〕を具えていない場所で集会してはいけない<sup>121)</sup>。阿闍梨が命じないのに符牒を喋ってはいけない。懇願なしで〔聚会の堂廟を〕開門してはいけない。灑浄せずに内に入ってはいけない。闕伽を奉献せずに喋ってはいけない。阿闍梨に花を献ずるまでは敷物に坐してはいけない。羯磨の男性（羯磨金剛者）と羯磨の女性（羯磨金剛女）が命じてはいないのに〔勝手に〕列に着座してはいけない。懇願せずに三摩地に専心してはいけない。標点を布置しないで瑜伽者に供養してはいけない。甘露を注ぎかけずに食物を加持してはいけない。怖畏と憂慮と羞恥なく〔食物は〕享受せよ。食物に執着してはいけない。男女瑜伽者に貪著してはいけない。裸形を衣服として住すべし。加持せずに尸林の飾りを着けてはいけない。分別と羞恥をもつならば有疱 (*arbuda*) 地獄に生まれる。この故に、比丘を始めとする妄分別をもつ者であっても、この場では分別してはいけない。結跏趺坐で住すべし。年齢順で列に住すべし。阿闍梨が等至しないのに〔瑜伽に〕入ってはいけない。食物は両手で差し上げ両手で受け取る。阿闍梨



に尋ねずに歌と舞踏と安息の所作をしてはいけない。樹木などの下に場所がないのに食物を置いてはいけない。在家者などや愚者たちに不信と誹謗をさせてはいけない。させるならば無間地獄 (*avīci*) に生まれることになる」とタントラの中で言われている。

ああ、瑜伽者たちよ、他人の過失を分別してはいけない<sup>122)</sup>。瑜伽者たちは行の禁戒をもつ者を怖れてはならない。もし怖れるならば金剛地獄 (*vajranaraka*) に生まれる。男性勇者が居ないのに女性勇者が、女性勇者が居ないのに男性勇者たちが聚輪を転じてはならない。曼荼羅を具えないと勇者の饗宴ですら為してはならない。おお、瑜伽者たちよ、食物は、執着と貪欲と身体のためと精力のために食すべきではない。もし〔そのようにして〕食べるならば、餓鬼の因に結ばれて生まれることになる。ああ、貪と瞋と癡と我慢と嫉妬をもつ瑜伽者たちを〔聚輪に〕住させてはいけない。幻術師の話と楽士と王と軍隊と商売と薬と無意味な論典と声聞の学処の所作と悪い種姓と売春婦などの話題を話してはいけない。足を伸ばすなどして、姿勢を〔正しく〕保たずに住してはいけない。證得をもたない初学者たちでも正行によって坐せ。いかなる行いであっても不浄に為してはいけない。食物は多く食べよ。食物に文句をつけてはならない。食物には柔軟に対応すべきである。得られた飲物は何であれ口にせよ。グルの命令はすべて為せ。食物によって身体が浄めらずに外に出てはいけない。バリを撒かない間は外に出てはならない。尋ねもせず、廻向せず、誓願も唱えずに横臥してはいけない。ああ、瑜伽者よ、大利益をもって理解せよ。歓喜と愉悦と心の栄光を高揚させよ。この諸々の理趣を他処で喋ってはいけない。もし喋るならばダーキニーが頭を粉々に砕き、悉地もまた無と為すのである。その故にこれらに違犯してはいけない」とお説きになっている。

#### V.〈奥書〉

この『聚輪と勇者の饗宴の儀軌』は、『サンヴァローダヤタントラ』聚輪品の梵本<sup>123)</sup> および註釈<sup>124)</sup> と、阿闍梨マンジュシュリーキールティがお作りになった『一切秘密総儀軌心髓莊嚴』の聚輪〔の章<sup>125)</sup>〕の二つの章品を根拠としている。さらに、『カーラチャクラ』および『サンヴァラ撰義註釈』で述べられている聚輪と勇者の饗宴の儀軌と、『サンプタ』および『アームナーヤマンジャリー』で釈説された事柄と、『四座』およびアールヤデーヴァがお作りになったその『曼荼羅儀軌』と、阿闍梨パドマ〔一カラ〕がお作りになった『聚輪五種三昧耶』<sup>126)</sup> とドーンビ

ヘールカがお作りになった『ヘーヴァジラの聚輪』とクリシュナ<sup>127)</sup>がお作りになった『ヘーヴァジラの聚輪』とクリシュナがお作りになった『クリシュナヤマリーの聚輪』<sup>128)</sup>とラトナーカラシャーンティがお作りになった『バイラヴァの聚輪』<sup>129)</sup>とガンター〔パーダ〕がお作りになったと言われる『サンヴァラの聚輪』と『行合集灯』等に基づき、阿闍梨ドーンビヘールカがお作りになった『瑜伽者と瑜伽女の不共儀教誡』等に依拠し〔その上に〕グルの相承が示す作法についての口伝で荘厳して書いたものである。

吉祥なる四身で大楽遊戯〔なさる〕持金剛よ、苦のない楽で大楽遊戯〔なさる〕曼荼羅の尊格よ、吉祥なる事業により大楽遊戯〔なさる〕守護神の集団よ、甚深なる供養によるこの『大楽遊戯』の儀軌は、無上なるタントラおよび学匠にして成就者〔なるお方たち〕の無垢なる著作を集めて、他の者から勧められたNorの比丘〔Bu ston〕Rin chen grubが作りました。その善行によって解脱し、宝の〔臍部〕州にある私の三身に蛇王の頭部にある〔千の〕宝石の光輝を成就させ給え。もし、この著作に誤謬の堆積があれば、グルと尊格を伴った智者の集団が忍辱の智慧で大火を煽り、過失の稠林を余すところなく焼尽し給わんことを。

この『聚輪と勇者の饗宴の儀軌「大楽遊戯」』と名づける著作は、二つの言語を話す偉大なDharmaśribhadra<sup>130)</sup>と大瑜伽行者dBang rnon<sup>131)</sup>とカーラチャクラの信解者'Jam dbyangs dkar po<sup>132)</sup>と比丘bSod nams grub<sup>133)</sup>によって幾度も勧められたNorのプトゥンが、みずのえとら(壬寅1362)年<sup>134)</sup>snron (*jyaiṣṭha*)月<sup>135)</sup>上弦の八日に完成したものを'Jam dbyangs dkar poが筆記しました。この著作によって輪廻の苦の大海が速やかに干上がらんことを。吉祥なれかし。

## 略号

二儀軌S本: Snellgrove, D.L., *The Hevajra Tantra A Critical Study*, London Oriental Series 6, 1959.

松長梵本: 松長有慶『秘密集会タントラ校訂梵本』東方出版, 1978.

SU津田本: Tsuda, S., *The Saṃvarodaya Tantra Selected Chapters*, 1974.

CIHTS: Central Institute of Higher Tibetan Studies in Sarnath.

RBTS: Rare Buddhist Text Series, CIHTS.

ŚPS: Śata-piṭaka series.

## 参考文献

岩本 裕『仏教聖典選7 密教経典』読売新聞社, 1975.

- 奥山直司「魔神信仰:チベットにおける神仏習合の一断面」立川武蔵編集『仏教の受容と変容 3 インド・ネパール編』佼成出版社, 1991.
- 桜井宗信「Kriyāsaṃgraha 所説のガナチャクラ儀軌」『智山学報』50, 2001.  
「Prajñārakṣita の説く bāhyapūjā」『印度學佛教學研究』50-2, 2002.
- 静 春樹「プトゥンと『アバヤの聚輪儀軌』について: 聚輪儀軌和訳研究」『高野山大学大学院紀要』5, 2001.  
「プトゥンのガナチャクラ儀軌『聚輪並びに勇者の饗宴の作法儀軌「大楽遊戯」』和訳研究: その1」『高野山大学密教文化研究所紀要』18, 2005.  
『ガナチャクラの研究: インド後期密教が開いた地平』山喜房佛書林, 2007.
- 西岡祖秀『『プトゥン仏教史』: 目録部索引Ⅲ』『文化交流施設研究紀要』東京大学文学部, 1983.
- 松長有慶『松長有慶著作集 5』法蔵館, 1998.
- 森 雅秀「インド密教におけるバリ儀礼」『高野山大学密教文化研究所紀要』8, 1994.  
「インド密教における成就法と儀礼」『高野山大学論叢』2000.
- 山口瑞鳳『チベット語文語文法』春秋社, 1998.
- Cicuzza, Claudio, (ed.), *The Laghutantratīkā by Vajrapāṇi*, SOR 86, Rome Instituto Italiano per l’Africa e l’Oriente, 2001.
- Kurahashi, K., Śrīdhara and His Works on the Yamāri Cycle Esoteric Buddhist Studies: Identity in Diversity, Koyasan University, 2008.
- Lokesh Chandra, (ed.), *The Collected Works of Bu-ston*, ŚPS vol.47.  
*The Blue Annals*, ŚPS vol.212, New Delhi, 1974.
- Pandey, S. J., (ed.), *Caryāmelāpakapradīpam*, RBTS 22, Varanasi, CIHTS, 2000.
- Roerich, G.N., (tr.), *The Blue Annals*, Delhi: Motilal Banarsidass, 1976 (1949)
- Ruegg, D. S., (tr.), *The Life of Bu ston Rin po che, With the Tibetan Text of the Bu ston rNam thar*, Serie Orientale Roma No.34, Roma Instituto Italiano per il Medio ed Estremo Oriente, 1966.
- Schiefner, A., (comp.), *Tāranāthae de Doctrinae Buddhicae in India Propagatione*, Sankt Petersburg, 1868.
- Sugiki, T., A Critical Study of The Vajraḍākamahātantrarāja (II) Sacred Districts and Practices Concerned, *Chizan Gakuho*, 52, 2003.  
System and Historical Development of Secret Signs as Communication Media, *Chizan Gakuho*, 54, 2005.

## 註

- 1) ŚPS pt.7 (Ja), 669L1-815L3.プトゥンはこの著作完成(1362年4月23日)の半年後に、Toh 蔵外5054 dPal dkhor-lo sdom-pa'i mchod-pa'i phreng, bDe-chen rnam-rol-gyi mchod-pa (以下、『大楽遊戯供養』ŚPS. pt.7 (Ja), 425L1-454L7)を著述している。この著作は実際に行われる集会のマニュアルではなく供養法である。金剛乗の宗教実践の構造を考察する一助として相当箇所を示しておく。

- 2) [森2000:31]
- 3) Toh 1803 Caryāmelāpakapradīpa Ṇi.97b4-5. [Pandey: 84]
- 4) 『大楽遊戯供養』, 430L7-437L6.
- 5) 『大楽遊戯供養』, 453L7227a7-454L7.
- 6) 松長梵本 p.25 (22) [松長1998:45]
- 7) Toh 1785 Pradīpodyotana-nāma-ṭikā, Ha.62a2-4.
- 8) 『大楽遊戯供養』, 437L6-438L2.
- 9) プトゥンは Catuḥpīṭhantra を rDo rje gdan gzhi rtsa ba'i rgyud と呼ぶ。[西岡: 69]
- 10) Toh 1198 Saṃputatantrarājaṭikā-Āmnāyamañjari, Cha.303a7.
- 11) 類似の文言は Toh 1402 Laghutantraṇḍārthavivarāṇa, Ba.117a1-2, [Cicuzza: 108]
- 12) 『大楽遊戯供養』, 438L2-5.
- 13) 牛肉 (go)・狗肉 (ku)・馬肉 (da)・象肉 (ha)・人肉 (na) の五種を言う。
- 14) 精液・髓・経血・尿・糞便の五種を言う。
- 15) madanotsuka の実体は不明である。ここでは madana と区別するために酒精飲料と訳した。
- 16) Toh 381 Saṃpuṭa-nāma-mahātantra ch.9, 151b5-6., 京大写本 Goshima-Noguchi No.116, 178a3-5.
- 17) このマントラは Vajrāvali の「ヘーヴェジャラ流のバリ儀礼 (Hevajrikāḥ sārvaḥautikabali)」に出る。Toh 3140 Phu.92a5-6. [森1994: 178n. 48]
- 18) このマントラは Vajrāvali の「サンヴェアラ流のバリ儀礼 (Sāmvarikāḥ sārvaḥautikabali)」に出る。Toh 3140 Phu.91a6-7.
- Om kha kha khāhi khāhi sarva yakṣa rākṣasa bhūta preta piśāca unmāda apasmāra ḍāka ḍākinyādaya imaṃ baliṃ grhṇantu samaya rakṣantu / sarvasiddhim me prayacchantu hūṃ hūṃ phaṭ sva hā /
- 19) 息災・増益・敬愛・調伏などの事業 (*karma*) を指す。[奥山1991: 136~138]
- 20) 出典不明。
- 21) [Schiefner: 195~196] [Kurahashi: 180n. 21]
- 22) この箇所具体的な意味は不明。
- 23) [桜井 2002: 841~845]
- 24) SU 当該箇所では、食べるもの (*khāna*) 飲むもの (*pāna*) 嘗めるもの (*peya*) となっている。
- 25) SU 津田本 p.99(22)-(24), Toh 373 Kha.274a5-6.
- 26) Toh 1231 Gaṇacakravīdhi, Ṇa.44a2-4.
- 27) Toh 1420 Saṃvarodayamahātantrarājapadmi-nāma-pañjikā, Wa.30a5.
- 28) Dep ther sngon po (『青冊史』) ŚPS vol.212, Ja.11a5-6., [Roerich: 374] には以下のように記されている。
- ヤマーンタカの教義は Atiśa から Nag tsho に伝授された。両人はまたタントラ自体 (Toh 467 Kṛṣṇayamāritantra) と註釈書 Sahajāloka (Toh 1918) その他を訳した。(略) Nag tsho はヤマーンタカの教義を Rong pa phyag sor pa に教え、この教説もまた〔チベットで〕流布した。
- 29) [西岡: 67] には [1458] gZhon nu gdong drug gi rgyud の名で出る。『東北蔵外目録』5170

『プトゥン真言大全』No.76 gShin rje gdong drug gi sngags の解題は、このタントラを Toh 467 Kṛṣṇayamāritantra とする。

- 30) Toh 467にはこの文言は見られない。
- 31) Toh 2490 Sarvaguhyavidhigarbhāṃkāra, Zi.240a3-5.
- 32) Toh 1613 Catuḥpīṭathantrarājamaṇḍalavidhisārasamuccaya, Ya.132a4-5.
- 33) Toh 2490 Zi.240b5-6.
- 34) Toh 1607 Bhavabhadra 作 Catuḥpīṭathantrarājasmr̥tinibandha-nāma-ṭikā, Ha.186a6には、  
ba dan (*patākā*) の語が見られる。
- 35) Toh 1613 Ya.131b4.  
rnam shes dang ni 'jigs par sbyar // ba dan gsum pa brkyang byas nas //
- 36) Toh 1613 Ya.131b4.
- 37) Toh 1198 Cha.295b6-296a2.
- 38) Toh 1955 Gaṇacakravīdhi, Mi.83a3-4.
- 39) 普行のユニットは『Dombi-heruka 聚輪儀軌』Toh 1231 Ña.44a5では「第三段落」となっている。
- 40) Toh 1955 Mi.83a5., Om a kā ro mu kham
- 41) Toh 1955 Mi.83a4-5.
- 42) 内護摩のユニットは『Dombi-heruka 聚輪儀軌』Toh 1231 Ña.43b7-44a1では「第二段落」となっている。
- 43) sa bon (*bija*) の意味は不明。
- 44) Toh 1224 Samayapañca, Ña.27b6-28a1.
- 45) Toh 2490 Zi.240a6-b3には dpa' mo とある。
- 46) Toh 2490 Zi.240a6-b3.
- 47) [Sugiki 2005] は瑜伽女タントラに特徴的な chomā, sandhyābhāṣā について詳説している。
- 48) Toh 368 Laghusaṃvara, ch.15., Ka.225a4.
- 49) Toh 366 Sarvabuddhasamāyogaḍākinijālasavara-nāma-uttaratantra にはこの文言は見当たらない。『行合集灯』にはこの文言を含めた sandhyābhāṣā が詳説されている。[Pandey: 87]
- 50) 二儀軌 S 本 p.60(56)-(60)
- 51) 類似の文言は [Pandey: 144]
- 52) 『大楽遊戯供養』, 438L5-6.
- 53) 法 (*dharma*) 実利 (*artha*) とならんで性愛 (*kāma*) を自己実現の手段として重視するインドでは、幾多の「性愛学」文献が書かれた。西藏大蔵経にも Toh 2500 Kamaśāstra が見在する。
- 54) Toh Ña.44b4-5. [Sugiki 2003: 97]
- 55) Toh 2490 Zi.240b3-5.
- 56) Toh 1198 Cha.b4-5.
- 57) 類似の文言は Toh 1402 Ba.117a5.
- 58) Toh 1224 Ña.27a6.
- 59) Toh 1224 Ña.27b5-6.
- 60) SU 津田本 ch.8., p.101に出る偈頌(32)-(37)の内の三つを指す。

- 61) SU 津田本 p.102にはdamaru (tib. cang te'u) と出る。
- 62) SU 津田本 p.102にはdhakka (tib. bkra shis rnga) と出る。
- 63) SU 津田本 p.102には huḍukka (tib. rnga rings) と出る。
- 64) SU 津田本 pp.101~102, Toh 373 Kha.274b5-7.
- 65) Toh 362 Ka.126b2-4.
- 66) 松長梵本 p.96.1. akṣobhyavajra mahājñāna [松長1998: 178]
- 67) この箇所は出典不明。
- 68) Toh 1613 Ya.132b2-4.
- 69) この箇所の意味は不明。
- 70) この偈頌は Toh 369 に見出せない。同一偈頌が『大楽遊戯供養』446L3-447L1に見られる。
- 71) 二儀軌 S 本 p.62(6)-(8)
- 72) テキストに出る brtsos の意味は不明。
- 73) 'od med の意味は不明。文脈から「骨の装飾品」とした。
- 74) 足勢については、Toh 蔵外 5060 gDan bzhi'i rkang stabs bco brgyad pa, ŚPS pt.7 (Ja), 665L1-669L7でプトゥンが詳説している。
- 75) dang la bzhi 'gyur du 'grub cing の意味は不明。
- 76) 出典箇所不明。
- 77) Toh 1224 Ņa.27b4-5.
- 78) Toh 1803 Ņi.99a4-6. [Pandey: 87]
- 79) rigs 'gros の意味は不明。
- 80) テキストの su ra stvaṃ は suratas tvam に読む。
- 81) spyod lam (*iryāpatha*) の詳細は不明。
- 82) gsang thub の意味は不明。
- 83) Toh 2490 Zi.240b5-241a1.
- 84) Toh 1224 Ņa.28a1-4.
- 85) Toh 1224 Ņa. 28a6-b1.
- 86) patra は葉、keśa は毛髪であるが、patrakeśa の意味は不明。
- 87) sandhyābhāṣā では catuḥsama は糞便の意味。gūtham catuḥsamaṃ proktaṃ (二儀軌 S 本 p.60, II.3.59) 従って、同義反復となるので、ここでの catuḥsama の意味は不明。
- 88) Toh 1402 Ba.140a6-b1. [Cicuzza: 157]
- 89) SU 津田本 pp.98~99(19)-(20), Toh 373 Kha.274a3-4.
- 90) SU 津田本 p.99. 27., Toh 373 Kha.274a7-b1.
- 91) 聚輪における誓願の定型句である。一例として Toh 1231 Ņa.44b6-7参照。
- 92) Toh 1231 Ņa.43a4-5.
- 93) Toh 1611 Ya.84b4.
- 94) 出典箇所不明。
- 95) 誓願の偈頌の定型句である。一例として Toh 1955 Mi.84b6-7参照。
- 96) Toh 362 Ka.127b4-5.
- 97) 出典不明。

- 98) SU 津田本 pp.99~100(26),(28)
- 99) Toh 1533 Za.94b7.
- 100) 二儀軌 S 本 p.90(6)-(7)
- 101) Toh 1231 Ña44b7-45a1.
- 102) SU 津田本 p.102(36), Toh 373 Kha.274b7-275a1.
- 103) SU 津田本 p.102(37), Toh 373 Kha. 275a1.
- 104) この偈頌は『サンヴァローダヤ』のテキストに基づいて訳出した。Toh 373 ch.32., Kha.309a7-b2., 東大 Matsunami 写本 No.421 44b5-6, 京大写本 Goshima-Noguchi No.108 78a5-b2.
- 105) Toh 362 128a7-b1.
- 106) Toh 558 Mahāsahasrapramardana-nāma-sūtra (大正 vol.19 No.999) からのこの引用文言箇所は、[岩本: 349] が出す「わが国土ならびに一切の衆生に安樂あれ、幸いあれ」に意味的には相当すると考えられるが、チベット語訳には見当たらない。
- 107) Toh 1198 Cha.303a6.
- 108) Toh 1224 Ña.28b2.
- 109) SU 津田本 p.102(38), Toh 373 ch.8., Kha.275a2.
- 110) Toh 373 ch.32., Kha.309a5-6
- 111) この「頭蓋鉢に入れたバリのマントラ (*karāṅkalimantra*)」の原文とその和訳は [桜井 2001: 22, 29]
- 112) テキストの ghi haṃ を Toh 1613 によって gi wang と読む。
- 113) Toh 1613 Ya.132b4-133a1.
- 114) Toh 1955 Mi.83b1-3.
- 115) SU 津田本 p.102(38)
- 116) SU 津田本 p.102(39)
- 117) Toh 2490 Zi.241a1-2.
- 118) Toh 1230 Ña.41a7-42b7.
- 119) Toh 1230では Samuñjaya の名で出ている。
- 120) Toh 375 Yoginisañcārya にはこの文言は見出せない。
- 121) Ota 2359では de dag tu brda dang mi ldan pa dag 'dus bar bya'o /
- 122) Toh 1230ではこの後に以下の文言がある。  
mtshang 'brub dang / rtsod pa dang / nga rgyal dus thams cad du spang par bya'o /  
bla ma la ma zhus par bya ba la ma 'jug cig /
- 123) SU 津田本 pp.96~102. samayasamketavidhipaṭalo 'ṣṭamaḥ
- 124) Toh 1420 Ratnarakṣita 作 Samvarodaya-mahātantrarāja-padmini-nāma-pañjikā, Wa. 9a3-32a5.
- 125) Toh 2490 ch.4., Zi.239b1-241a2.
- 126) 「阿闍梨パドマがお作りになった『聚輪五種三昧耶』と言うプトゥンの判断については [静 2001] を参照。
- 127) Toh 蔵外5197『プトゥン仏教史』によると、作者は「小クリシュナ」(Ñag po pa chung ba) とある。

227 プトゥンのガナチャクラ儀軌『大楽遊戯』和訳(2)(静)

128) Toh 1955 Gaṇacakravādhī は、プトゥンが奥書で言う『ヘーヴェヅラの聚輪』(Toh 1258 Gaṇacakrapūjākrama) に、主尊ヤマールへの讃嘆と供養などの文言が詰め込まれて増広された文献である。従って、クリシュナ作聚輪儀軌の原典(『クリシュナ聚輪儀軌』)は基本的に一本と考えてよい。

129) Toh 1995 Mi.189b4-191b5.

130) sGra tshad pa 作 Bu ston lo tsā ba'i rnam par thar pa (1366年完成, 以下、『プトゥン伝』) 32b5, 34a1 [Ruegg 1966: 147n.2], Dharmasri の名は『青冊史』にも出る。ŚPS vol.212, Cha. 9a4., [Roerich: 345]

131) この人物については不明。

132) 『プトゥン伝』34a4には 'Jam dbyangs pa の名前が出るが同定できない。

133) 『プトゥン伝』奥書には「この書を比丘にして善知識である bSod nams grub の協力の下に書いた」とある。

134) プトゥンはこの著作を入滅(1364年, *Pūrvāṣāḍha* 月)の二年一か月前に作ったことになる。

135) チベット暦における二十八宿系の月の名称で4月16日から5月15日の一か月である。[山口1998: 47~48]

<キーワード> プトゥン 大楽遊戯 ガナチャクラ(聚輪) 金剛乘



## プトゥン『大楽遊戯』テキスト

## II. 正行

## II. 1. 曼荼羅の成就

## II. 1. (1)〈聚会曼荼羅の場合〉

gnyis pa la / dkyil 'khor sgrub pa / mchod pas rgyas par mchod pa  
 gnyis kyi dang po ni / dkyil 'khor gcig gi tshogs kyi dkyil [392b] 'khor  
 du sgrub na / rdo rje slob dpon gyis cho ga ji lta ba bzhin du bsgrub  
 cing / gzhal yas khang bskyed pa'i skabs su tshogs kyi khang pa de  
 nyid gzhal yas khang gru bzhi sgo bzhi rta babs bzhi dang ldan pa la  
 sogs pa mtshan nyid thams cad rdzogs pa gdan dang bcas pa bskyed /  
 gtso bo bskyed pa'i skabs su slob dpon bdag nyid dkyil 'khor gyi gtso  
 bor bskyed / 'khor bskyed pa'i skabs su 'khor mngal 'byin gyi tshul  
 gyis spro ba yin na / gtso bo yab yum snyoms par zhugs pa'i mngal  
 nas 'khor lo rnam phyung / spros / mdzad pa mdzad nas slar bsdu te  
 / cho gas so so la bstims la lha de dang der bskyed / mngal 'byin ma  
 yin pa'i lugs la slob dpon kyi lus kyi phung po khams skye mched kyi  
 cha shas rnam rnam dag dang mthun par 'khor gyi lha de dang der  
 bskyed la tshogs rnam la bstims / tshogs rnam kyi kyang lha de  
 dang de'i ngo bor bsgom / de nas skye mched dang sku gsung thugs  
 byin gyis brlab pa dang / ye shes pa gzhug pa dang / dbang bskur ba  
 dang / rgyas gdab pa rnam dang rang gi gzhung bzhin du bya ste /  
 spyod bsdu las / don dam pa'i bden pa la dmigs pa sngon du 'gro bas  
 bdag la byin gyis brlab pa'i rim pas rdo rje sems dpa'i skur bdag nyid  
 bskyed la / dkyil 'khor gyi bdag po'i tshul gyis 'dug nas gzugs kyi yul  
 la spyod par byed do / zhes sogs gsungs so /

## II. 1. (2)〈図絵曼荼羅の場合〉

dkyil 'khor gcig gi tshogs kyi dkyil 'khor du sgrub pa ma yin pa rdul  
 tshon gyi dkyil 'khor bris pa'i lugs la / thog mar thams cad kyi bdag  
 bskyed yongs su rdzogs par bsgoms la bzlas pa'i mthar thug par bya /  
 de nas rdul tshon gyi dkyil 'khor bsangs sbyangs sngon du 'gro bas

rang rang gi gzhung bzhin du yongs su rdzogs par bsgrubs pa gtso bo'i  
sngags brgya rtsa / 'khor gyi nyi shu rtsa gcig la sogs pa bzla'o /

## II. 2. 広大供養

### II. 2. (1)〈外供養〉

gnyis pa la / phyi dang [393a] yid las byung ba dang / nang dang /  
gsang ba dang / bstod pa dang / gtor ma dang / tshogs dang / de kho  
na nyid dang / rdo rje'i glu gar gyi mchod pa dang dgu'i dang po ni /  
mchod pa'i yo byad rnams bsangs sbyangs byin gyis brlab pa rang rang  
so so'i gzhung bzhin byas la / chu gcig gam gnyis sam bzhi sngon du  
'gro ba'i nyer spyod lnga dang / rol mo'i mchod pa bya / de nas phyi'i  
yo byad thams cad bsdus na / 'dod yon lngar 'dus pas / 'dod yon lnga  
rnams rang rang gi gzhung nas bshad pa'i sngags dang phyag rgya  
dang bcas pa dbul / ye shes zhabs lugs pa lta bu phyag rgya med pa  
yin na / tshigs bcad dang sngags tsam gyis dbul lo / de dag ni / phyi'i  
yo byad 'bul bas phyi'i mchod pa zhes bya'o /

### II. 2. (2)〈意所成供養〉

gnyis pa ni / rgyal srid rin chen sna bdun ni / phyi'i yo byad 'bul bas  
phyi'i mchod par 'gyur la / dngos su med pa rang gi thugs ka'i sa bon  
las yid kyis sprul nas 'bul ba'i phyir yid kyi mchod par yang 'gyur ro /  
gsang 'dus las /

zhing 'dir ring chen sna bdun gyis // mkhas pa dag gis yongs bkang  
ste //

dngos grub 'dod pas bla ma'i phyir // nyin re shes rab can gyis dbul //  
zhes gsungs shing / 'grel bar rgyal srid rin chen sna bdun dang / nor  
bu rin chen sna bdun 'bul ba gnyis ka bshad cing rdzas khyad par can  
gyi mchod pa zhes zer ro / bde mchog gi rig ma bcu drug mchod pa'i  
dngos po phyi'i mchod pa shas che yang / yid kyis sprul nas 'bul ba'i  
phyir yid mchod du bshad do /

### II. 2. (3)〈内供養〉

gsum pa ni / nang mchod rang rang gi cho ga bzhin byin gyis brlab /  
 lag pa g'yas par thod pa bdag bskyed la mchod pa'i skabs su dpral ba  
 rang la bstan / mdun bskyed la mchod pa'i skabs su dpral ba pha rol la  
 bstan la / rdo rje gdan bzhi las 'byung ba ltar / chang gi dbus su bdud  
 rtsi'i snying po so sor [393b] bsam / lag pa g'yon pa'i mthe bo ksum las  
 sa gzhi / ming med sum las ri rab tu bsam / de gnyis rtse sprad pas  
 dus 'khor dgyes rdor sogs la g'yas bskor / bde mchog gdan bzhi sogs la  
 g'yon bskor du lan gsum dkrugs pas / sngon lha ma yin stobs ldan gyis  
 rgya mtsho bsrubs pas bdud rtsi byung ba ltar bdud rtsi'i snying po  
 blangs te / bla ma rnams rang gi spyi gtsug na yar khrom tshogs sam  
 / mtho brtsegs su bsam la / thog mar rtsa ba'i bla ma'i mtshan smos  
 te om āḥ hūm'am dus 'khor yin na na maḥ btags la dbul / de nas brgyud  
 pa'i bla ma rnams la / de nas man snyer myos byed kyi chos 'byung  
 byas par rang gi snying ga'i 'od kyis spyang drangs pa'i ye shes kyi 'khor  
 lo cho ga ji lta bar mchod par bya'o / zhes pa bzhin / bde mchog stod  
 'grel nas kyang bshad pas / sa la g'yon pa'i srin lag gis chang gi chos  
 'byung gru gsum rtse mo rang la bstan pa bris / de'i dbus su zlum por  
 bskor ba bris la snying ga'i 'od kyis dkyil 'khor gyi 'khor lo der spyang  
 drangs te me long gi gzugs brnyan bzhin du gsal bar bltas la dkyil 'khor  
 gyi lha la rang rang gi sngags dang snying po'i mthar om āḥ hūm  
 btags la dbul / de tsam mi nus na / lha rang rang gi mtshan la om āḥ  
 hūm btags la dbul / de nas rnal 'byor bla med kyi rgyud nas 'byung  
 ba'i rigs sum cu rtsa drug gi bdag po'i ming la 'khor dang bcas pa zhes  
 btags la dbul / de nas mgrin par lha thams cad 'dus pa'i bdag nyid kyi  
 mchod rten bsam nas de la dbul / de nas lce rtse smin mtshams spyi  
 gtsug gsum du chang gi thig le byas la srid pa gsum na gnas pa'i sngon  
 grub pa rnams dang / de nas rang gi sgos kyis chos skyong dang / zhing  
 skyong stobs chen po dang / zhing skyong ma dril bu chen mo la sogs  
 pa zhing skyong pho mo bzhi bcu rtsa brgyad dang / gzhan yang dur  
 khrod [394a] chen po brgyad na gnas pa'i phyogs skyong zhing skyong  
 klu dang bcas pa dang / rgya gar dang bod kyis gtsug khang gi chos  
 skyong srung ma dang / bla ma rnams kyis gdan sa srung bar bskos

pa'i chos skyong srung ma bstan pa dang bstan 'dzin gyi gang zag srung  
 zhing skyong bar byed pa thams cad dang / gzhi bdag gnyug mar gnas  
 pa dang / khams gsum gyi sems can thams cad kyang yi dam gyi lhar  
 bskyed la dbul / de'ang lag pa mtheb srin sbyar ba kha gyen du bstan  
 te / bla ma la 'bul ba'i tshe spyi bo'i steng yan chod dang / dkyil 'khor  
 la 'bul ba'i tshe rang gi kha'i thad tsam dang / chos skyong sogs la 'bul  
 ba'i tshe mchog sbyin gyi lag pa'i tshul gyis lte ba'i thad tsam du dbul  
 bar bya'o / de nas sangs rgyas dang byang chub sems dpa' thams cad  
 rang gi lus la bcug ste bdud rtsi myangs pas rtza stong phrag bdun cu  
 rtza gnyis po thams cad bdud rtsis gang / lus dkyil gyi lha dang sangs  
 rgyas dang byang chub sems dpa' thams cad bdud rtsis mnyes shing  
 tshim nas bde ba chen po'i sku nyams su bstar bar bsgoms la / om sa  
 rva ta thā ga ta a mṛ ta sva da na sva bhā va ā tma ko 'ham / zhes brjod  
 / nang mchod bdud rtsi myang ba dang bcas pa 'di gzhung la lar bstod  
 pa'i 'og tu 'ong / la lar bstod pa'i gong du 'ong bas rang rang gi gzhung  
 bzhin su bya'o /

## II. 2. (4)〈秘密供養〉

bzhi pa ni / sha lnga bdud rtsi lnga nang mchod ltar byin gyis brlabs  
 nas thod pa bkang ste lha mo rnams kyis phul bar bsam la dbul lo /  
 om sa rva va dzra kā mi ni sa rva bha kṣa śo dha ya gu hya va dzri ṅi  
 hūm phaṭ zhes brjod do /

## II. 2. (5)〈讚歎供養〉

lnga pa ni / rang rang gi rgyud dang sgrub thabs las 'byung ba'i bstod  
 pa rnams kyis bstod do /

## II. 2. (6)〈バリ供養〉

drug pa ni / de nas sa mpu ṭa las /  
 mchod yon mchod sogs rim gro dang // nya dang sha sogs bza' ba dang //  
 chang dang myos byed spro ba yang // g'yon du nye bar dgos pa kun //  
 g'yas pa dag tu chu yi [394b] snod // sngun du mchod yon dag gi snod //

rdzas ni 'di dag thams cad rnams // bdud rtsi lnga yis sbyang bar bya  
 //  
 zhes gsungs pas / gtor ma'i rdzas sha dang bza' ba la sogs pa la / chang  
 ni myos byed spro ba ste dga' bar byed pa / yang gi sgras 'o ma dang  
 chu la sogs pa'i steng du bdud rtsi lngas sbyang bar bshad pa'i phyir /  
 las kyi rdo rjes gtor ma rnams chang dang chu dang byin gyis brlabs  
 pa'i nang mchod kyis sbyangs / phyag byas te / gtor ma'i byin rlabs  
 dang 'bul ba'i cho ga mdzad par zhu zhes gsol ba btab la / rang rang gi  
 gzhung nas 'byung ba ltar gtor ma byin gyis brlabs la / 'jig rten las  
 'das pa'i gtor ma mdun bskyed kyi dkyil 'khor med na gtor mgron spyen  
 drangs la rang rang gi gtor sngags kyis dbul / mdun bskyed kyi dkyil  
 'khor yod na gtor mgron logs su spyen mi 'dren par mdun bskyed nyid  
 la 'bul ba dang / bla ma kha cig dkyil 'khor yod kyang gtor mgron  
 spyen drangs te dkyil 'khor dang bsres nas 'bul bar mdzad do / rang gi  
 sgos kyi chos skyong la 'bul ba ni / rang rang gi gzhung bzhin dbul lo  
 / gtor ma gsum pa ni / rang rang gi gzhung nas 'byung bas 'byung po  
 thams cad pa'i gtor ma bsngo ste / gsang ba 'dus pa yin na / om sa  
 rva ta thā dza zhes sogs sam / dgyes rdor pa yin na / om i ndra ja ma  
 sogs sam / bde mchog pa yin na / om kha kha khā hi khā hi sa rva ya  
 kṣa sogs / gshin gshed pa yin na / om i ndra ya na maḥ hriḥ / zhes  
 sogs kyis 'bul ba lta bu'o / rdo rje gdan bzhi la / mtshams bzhi'i gtor  
 ma dkyil 'khor gyi lha la 'bul / phyogs bzhi'i gtor ma shar gyi lha la /  
 byang gi klu la / nub kyi gnod sbyin la / lho'i dkyil 'khor kyi lha dang  
 / phyogs skyong ma mo dang bcas pa la 'bul te / rang rang so so'i  
 gzhung bzhin du nyams su blang ngo / gnas de'i gzhi'i bdag po la gzhi  
 bdag gang yin yi dam gyi lhar bskyed la / a ka ro mu lan gsum gyis  
 phul la 'phrin [395a] las bcol lo / de nas ye shes sems dpa' phyi bzhin  
 'brangs pa dkyil 'khor gyi phyi rol du 'khod nas ye shes sems dpa' la  
 srung ba byed pa rnams sgrub khang gi phyi rol du phyin la rang rang  
 gi gzhung nas 'byung ba'i 'byung po thams cad pa'i gtor cho ga bzhin  
 byin gyis brlabs / mgron gsal btab / gtor sngags lan gsum brjod pas  
 bsngos la /

gang du bcom ldan 'das lhan cig // 'ongs pa'i phyogs kyi bdag po rnams  
 //  
 gang yang rjes su 'brang bcas 'dir // gnas pa 'di dag thams cad rnams /  
 /  
 bdag ni rjes su gzung bya'i phyir // ji ltar rigs par gyur pa yi //  
 dri dang me tog sogs gtor ma // so sor bzhes te sems can la //  
 byang pa'i sems dang slob ma la // bgegs med par ni mdzad du gsol //  
 zhes La nka rgyal bzang gis mdzad pa 'dis bsngos shing gsol ba btab la  
 / mtshan mo yin na / gtor ma la mar me btsugs te gtor skyel gyi gnas  
 gsum du yi ge gsum bkod de srung ba byas la gtor ma dor / khro bo'i  
 sngags dang rol mo'i sgra drag pos nag po'i phyogs bar chad rtsom pa  
 rnams bskrad / nye reg byas / slob dpon gyis rting mnan te nang du  
 'ongs la / lhag chad kha bskang ba dang sgo dbye ba dang gsol ba gdab  
 pa bya'o / bdag 'jug len na / skabs 'dir blang ngo /

## II. 2. (7)〈聚会供養〉

bdun pa ni / sbyin bdag gis so so'i mdun du maṇḍala bya / tshogs kyi  
 yo byad thams cad dkyil 'khor gyi mdun du gzahag / me tog thogs te  
 mdun du gnas nas byang chub tu sems bskyed pa sngon du 'gro bas /  
 rdo rje 'dzin sogs dgongs su gsol // bdag gi tshogs kyi khyad par 'dir //  
 dad pa'i sems kyis 'bul lags na // ci bde bar yang bzhes su gsol //  
 zhes brjod la me tog gtor / las kyi rdo rjes / slob dpon gyi mdun gyi  
 ka pā la nas lag pa g'yon pas bdud rtsi bcus la tshogs kyi yo byad  
 thams cad la gtor te sbags la / bde mchog pa yin na / lag [395b] mchod  
 byas pa'i lag pa la gos pa'i rdzas rnams lha'i zhal las byung ba'i lhag  
 ma lta byar btags te yo byad thams cad la bsang gtor bya zhing slob  
 dpon gyis om āḥ hūṃ brjod / tshogs kyi yo byad byin gyis brlab par  
 zhu zhes gsol ba gdab / sdom 'byung las /  
 bza' dang bca' ba de bzhin btung // ta mbu la dang de bzhin yon //  
 dkyil 'khor gyi ni mdun rol du // sbyin pa'i bdag pos gzahag par bya //  
 phyi nas dngos po kun spyad de // las kyi rdo rje mkhas pa yis //  
 thog mar dam tshig kun spyod las // lcags kyu lhan cig ldan pa ste //

de dag mtha' dag yongs rdzogs pa // slob dpon gyis ni byin brlab bya //  
zhes so / de nas slob dpon gyis yo byad bsangs sbyangs byin rlabs gtor  
ma byin gyis rlob pa ltar bya ste / de ni tshogs 'khor gyi cha dang  
po'o /

de nas tshogs kyī slob dpon gyis // e ma'o ye shes chen po rnams //  
tshogs chen 'bar bas nyon mongs sreg // 'di 'dra'i bde ba thob nas ni //  
kun gyis a ho su kha brjod // de nas kun gyis mgrin gcig tu //  
sngags 'di dag ni brjod par bya // a ho su kha bha kṣa nām //  
a ho su kha pra ya nām / ma ha mu dra si ddhi na pra sa tha ta ni rte  
na hūṃ ha ha ho / zhes Ḍo mbhi he ru kas bshad do / de nas las kyī  
rdo rjes thams cad kyī phud bsdus nas bla ma la dbul lo /  
sdom 'byung 'grel bar / de nas bza' ba la sogs pa rnams las phud cung  
zad cung zad re blangs te snod chen por blugs nas tshogs kyī dbus su  
bzhaḡ ste / gdugs dang rgyal mtshan la sogs pas brgyan pa'i gtor ma  
chen po dang por dbul bar bya'o / zhes gsungs pa ltar / yo byad thams  
cad kyī phud bsdus pa la gdugs dang rgyal mtshan dang ba dan la sogs  
pas brgyan te / dkyil 'khor gyi gtso bo nas 'khor gyi bar rang rang gi  
sngags la oṃ aḥ hūṃ btags pas dbul / bla ma Rong pa'i phyag bzhes  
kyis / gshin rje'i gdong drug gi rgyud las /

gzugs sgra la sogs drug po rnams // dngos med mkha' dang 'dra ba las //  
longs spyod yul du du mar snang // shel la [396a] tshon ni ji bzhin du //  
'dod pa lnga dang chos rnams la // rtag tu rnal 'byor spyod par shog //  
a la la la ho / rol du gsol / bsnams par mdzod /  
mi 'dzin sgyu ma lta bu la // gar gyis dgyes pa'i rol ba mdzod //  
rig pa 'gag pa med pa la // mi g'yo bzhin du rol bar mdzod //  
ho chags pa med pas chags par mdzod //

ces pas dbul / de nas rnal 'byor bla med kyī lha thams cad kyī rigs  
bsdus na sum cu rtsa drug tu 'dus pas / de rnams kyī gtso bo rdo rje  
'chang / mi bskyod pa / rnam snang / rin 'byung / 'od dpag med / don  
yod grub pa / shes rab kyī pha rol tu phyin ma / rdo rje dbyings kyī  
dbang phyug ma / spyān ma / mā ma kī / gos dkar mo / sgröl ma /  
sa'i snying po / phyag na rdo rje / nam mkha'i snying po / 'jig rten

dbang phyug / sgrib pa rnam sel / kun tu bzang po / gzugs rdo rje /  
 sgra rdo rje / dri rdo rje / ro rdo rje / reg bya rdo rje / chos dbyings  
 rdo rje ma / gtsug tor 'khor los bsgyur ba / bgegs mthar byed / shes  
 rab mthar byed / pad ma mthar byed / gshin rje mthar byed / gnod  
 mdzes rgyal po / khro mo sngon mo'am nam mkha' rdo rje ma / rab  
 brtson ma / rmugs byed ma / nga rgyal byed ma / rengs byed ma /  
 shin tu sngon mo / de re re la 'khor dang bcas pa rnams kyi zhal du  
 om̐ āḥ hūṃ zhes pas dbul / de nas 'jig rten gsum na gnas pa'i zhing  
 skyong dang sngon grub pa rnams la nyer spyod dang / gzugs sgra dri  
 ro'i mthar thug pa dbul / de nas dur khrud brgyad na gnas pa'i phyogs  
 skyong dang zhing skyong dang klu dang yul nyi shu rtsa bzhi na  
 gnas pa'i zhing skyong dang zhing skyong ma nyi shu rtsa bzhi rnams  
 la dbul lo / snying po rgyan las /  
 de ltar bya ba brtan byas nas // tshogs kyi longs spyod thams cad ni //  
 las kyi rdo rjes 'dus byas te // 'bar 'bud sogs kiyis byin gyis brlab //  
 phud du 'ongs pa legs dmigs te // bla ma mchog rnams rab tu mchod //  
 de nas dkyil 'khor dbang po sogs // re re nas ni mchod par bya //  
 bla med rgyud las kun 'byung [396b] pa'i // rigs ni sum cu rtsa drug lha //  
 bdag po'i ming ni sngon byas te // 'khor dang bcas zhes brjod nas mchod //  
 'jig rten gsum na rab gnas pa'i // sngon du grub pa thams cad la //  
 me tog ro yi mthar thug pas // shis pa'i don du mchod par bya //  
 de nas zhing skyong la sogs pa'i // chen po'i mchod pa rab byas la //  
 zhes so / de nas las kyi rdo rjes / slob dpon nas brtsams nas gral na  
 'khong ba thams cad la / nyer spyod lnga'i mchod pa / om̐ va dzra pu  
 spa āḥ hūṃ zhes sogs lnga dang / om̐ va dzra dū pa āḥ hūṃ / om̐ va dzra  
 śa pta āḥ hūṃ / om̐ va dzra ga ndha āḥ hūṃ / om̐ va dzra spa rśa āḥ  
 hūṃ zhes pas so so re re la dbul / snying po mdor bsags las /  
 kun la dri ni rim bzhin dbul // kun la me tog sogs pas mchod //  
 thams cad dri yis bdugs nas ni // thams cad la ni mar me dbul //  
 thams cad du ni gtor ma ni // thams cad phud las dbul bar bya //  
 zhes gsugs shing / snying po rgyan las kyang /  
 rnal 'byor rnal 'byor ma rnams ni // dang por me tog sngon 'gro bas //



mngon mchod de nas gzugs la sogs // rang rang gi ni sngags brjod nas //  
 go rim bzhin du dbul bar bya //  
 zhes so / de nas las kyi rdo rje dur khrud kyi rgyan dang ldan pas thod  
 pa dum bu gcig pa chung gis bkang ste / lag pa gnyis pad ma'i gar  
 skor sngon du 'gro bas lag pa g'yas pa'i sor mo lnga bkram pa'i steng  
 du ka pā la'i dpral ba pha rol la bstan la gzhag / lag pa g'yon pa gdan  
 bzhi'i 'grel pa ltar na / mthe bos mthe chung mnan / lhag ma gsum  
 brkyang ba ba dan gsum pa'i phyag rgya'am / snying po mdor bsags  
 ltar na / mthe bo dang mthe chung sbyar ba rtse gsum gyi phyag rgyas  
 sha cung zad cig ste thod pa'i steng nas bkab pa pad ma 'dab brgyad kyi  
 tshul du byas pa ni / phyag rgya chen po zhes bya ste des bzung la /  
 'dir ni chos rnam bzang por ltos // med pa'i sgom pa dor bar gyis //  
 bram ze khyi dang gdol pa rnam // rang bzhin gcig pa nyid du zo //  
 om āḥ hūṃ / a la la la la ho zhes pas drang / tshigs bcad [397a] 'di  
 slob dpon A bhyas man ngag snye mar sam skrt'i skad du bsgyur nas  
 bshad pa byas pa bzhin yin pas 'di dag go / shod pa'i 'gyur las /  
 mthong ba'i chos ni dag pa la // med do snyam pa'i rtog pa thongs //  
 bram ze khyi dang gdol pa rnam // lhan cig gcig pa nyid du gsol //  
 zhes 'byung ngo / len pa pos kyang / phyag rgya de nyid bstan la /  
 bde gshegs chos la rin thang med // 'dod chags dri ma dang bral zhing //  
 gzung dang 'dzin pa rnam spangs pa // de nyid la ni gus pas 'dud //  
 om āḥ hūṃ a la la la la ho / zhes brjod la blang / slob dpon Nag po  
 pas /  
 sbyor ba'i dus na dngos grub ni // kun spyod de nyid de bzhin du //  
 rnal 'byor pas ni kun tu spyad // ji ltar bde bar spyad par bya //  
 zhes brjod nas 'og ma rnam la drang bar bshad / de ltar gcig nas gcig  
 tu bskor te drang ba ni / phyag rgya'i 'khor lo ste / cha gsum pa'o /  
 thams cad khyed pa dang / tshogs kyi gtso bos ji ltar bde bar spyod  
 cig / ces gnang ba byin la / so sor longs spyod / de bzhin du bza' ba  
 dang bca' ba dang myang ba dang ldag pa dang thug pa rnam kyang  
 so sor drang ste / slob dpon la nyis 'gyur / gzhan thams cad la re re  
 mnyam par drang / slob dpon Nag po pas / de nas thams cad kyi phud

bsdus te / slob dpon la dbul / slob dpon gyis de cha gnyis su bgos te /  
 cha gcig g'yon du bzhag la dkyil 'khor la dbul / cha gcig g'yas su bzhag  
 la a kā ros phyogs skyong la dbul / skabs der bkra shis bya zhes bshad  
 de / phyag len la snga ma bde'o / las kyi rdo rjes drangs pa ma gtogs  
 bza' btung rang gis blangs te longs mi spyad / thams cad kyi lte ba nas  
 ram las gtum mo ye shes kyi me sbar ba'i dbus su snying ga'i thad du  
 paṃ las pad ma'i steng du dkyil 'khor gyi 'khor lo bskyed la / rdor bzlas  
 kyi tshul gyis gsang sngags cung zad cig bzlas la / kha thab khung /  
 lag pa dḡang blugs / kha zas bsreg rdzas kyi tshul du phul [397b] bas  
 ye shes kyi lha tshim zhing mnyes nas sku nyams su bstar bar bsgom  
 pa ni / thugs kyi 'khor lo ste cha gnyis pa / bde mchog pa yin na / lag  
 pa g'yon pas bza' / gzhan rnams la ci bder dbul lo / chang dpa' mos ma  
 spyad par gzhan gyis mi spyad / sha dpa' bos ma spyad par gzhan gyis  
 mi spyad / thun mong du gtso bos ma spyad par gzhan gyis mi spyad  
 / so so'i skal ba longs spyad tshar nas thun mongs du chang la sogs pa  
 rnams tshim par longs spyad de / rang lha'i nga rgyal brtan po dang  
 ldan pas kha zas bdud rtsi dang lha mchod pa'i bsam pas 'dren pa pos  
 kyang lag pa gnyis kas drang / len pa pos kyang lag pa gnyis kas blang  
 ngo / dam tshig lnga pa las /  
 snod skyon rjes su gzung bya'i phyir // bdud dang bcas pas snod de ni //  
 ha cang myur min bul pa min // bgegs sogs brnyas pa spang ba'i phyir //  
 pad ma'i phyag rgyas blang bar bya // hub sgra med cing ma yengs  
 pas //  
 cung zad 'thungs nas legs bkang ste // phyag 'tshal ba yi khyad par  
 gyis //  
 gong gi phyag rgyas dbul bar bya // sgrub pa po yis yang dang yang //  
 de dag kun la phyag bya'o // snod ni sa la bzhag pa'am //  
 gzhan la byin par gyur ba na // lag na sa bon chad pas gcad //  
 rang gis thams cad mi btung ngo //  
 zhes so / snying po rgyan las /  
 dur khrud rgyan dang ldan pa yis // brda skad ces ni mngon brjod de //  
 dpa' bo rnams kyi longs spyod phyir // skyes pa'i thod pa cha gcig par //

ma da na ni rab tu brtag // dpa' bo rnams kyi longs spyod phyir //  
 g'yon pa rtse gsum phyag rgya yis // sha chen po ni legs bzung ste //  
 g'yas g'yon steng 'og tu byas nas // tshigs 'di dam tshig rab tu brtag //  
 gzigs shig mdzes pa dam pa'i chos // 'di la the tshom mi bya ste //  
 bram ze khyi dang gdol pa rnams // rang bzhin gcig tu rtogs pas zo //  
 sku gsung thugs kyi yi ge dag // so so ru ni mngon brjod na //  
 a la la ho mthar ldan bya // dpa' bo bsam gtan brtan byed cing //  
 pad ma bskor [398a] ba sngon 'gro bas // g'yas g'yon steng 'og byas nas  
 ni //  
 tshig 'di yis ni blang bar bya // 'dod chags dri ma bral ba yis //  
 ring thang med par legs 'ongs chos // gzung dang 'dzin pa rnam spangs  
 pa //  
 de kho na la phyag 'tshal lo // 'bru gsum po ni mngon brjod cing //  
 gtso bos gnang ba byin nas ni // dpa' bo rnal 'byor ma rnams kyi //  
 rang gi longs spyod gang yin pa // so so rab tu spyad byas nas //  
 de nas kun la thun mong ngo // chang ni dpa' mos ma spyad par //  
 dpa' bo la ni skal med de // sha la de bzhin dpa' pos so //  
 go rim bzhin du spyad bya zhing //  
 zhes so / brda skad ces pa ni / bde mchog las skyes pa la dā bud med la  
 dī zhes pa la sogs pa dang / mnyam sbyor las triṃ triṃ sha / śraṃ śraṃ  
 khrag ces pa la sogs pa rgyas par 'byung mod kyi / bod na dgyes rdor  
 nas 'byung ba de grags pa che bas / ma da na chang ba la sha / 'du pa  
 ma la ya dza nyid / 'gro ba khe ṭa ro ni śa ba / rus pa'i rgyan ni ni rang  
 su / 'ong ba phem kha na ru brjod / cang te'u kri si ta ru brjod / skal  
 med du dur zhes bshad / skal ldan ka li ṅdza rar brjod / reg min ḍi ḍi  
 ma zhes bya / thod pa pad ma bha dza naṃ / bza' ba tri si ta zhes bya  
 / tshod ma ma lā tri ndha naṃ / bshang ba tsa tu bbhā maṃ brjod /  
 gci ba ku sthu ri zhes brjod / rang byung si hlar shes par bya / khu ba  
 ga pur brjod par bya / sha chen sālī dza zhes brjod / dbang po gnyis  
 sbyor kun du ru / rdo rje bo la zhes bshad do / pad ma kakko la zhes  
 zer / zhes bshad pa bzhin no / brda skad 'di dag rgyud bzhan gyi lugs  
 kyis / dam tshig dang ldan pa'i rnal 'byor pho mo 'dus pa'i dbus su

brda'i skad kyis smra bar bya zhing / ma smras na nyes par 'gyur bar  
 bshad la / dus 'khor nas dam tshig dang mi ldan pa 'dus pa'i dbus su  
 gzhan gyis mi go bar bya ba'i phyir brda'i skad kyis smra zhing / brda'i  
 skad kyang sha la ma / chang la su zhes pa lta bu rang rang gi ming  
 yig dang po'i skabs kyis shes [398b] par bya bar gsungs so / de nas slob  
 dpon gyis chos zab mo mnyam par bzhag pas bshad / de nas dpa' bo  
 dang rnal 'byor ma rnams la yang yon bdag gi tshogs bsag pa'i phyir  
 chos zab mo shod ces bskul / so so nas chos zab mo bshad pa ni / dam  
 chos gsung gi 'khor lo'o /

II. 2. (8)〈真実供養〉

brgyad pa ni / yon bdag gis rang gi chung ma'am / gzhan bud med  
 mdzes ma slob dpon la phul la gsol ba gdab / slob dpon gyi lha thams  
 cad dam tshig la gnas par bya ba'i phyir yol ba'i nang du 'dod pa'i bstan  
 bcos las 'byung ba ltar sbyor thabs shes pas phyag rgya dang snyoms  
 'jug gi sbyor ba byas la / lhan cig skyes pa'i ye shes dos gzung zhing  
 rjes su chags pa'i nga rgyal gzung ngo / 'dzag na ga pur lces blangs la  
 myang zhing gzhan rnams kyi lce thog tu'ang sbyin / de bzhin du gzhan  
 rnams kyi'ang snyoms 'jug byas pa'i rang gi bdud rtsi bza' zhing bde  
 ba yang dag par rig par bya ste / sems kyi bde ba skyes pa ste thugs  
 kyi 'khor lo'o / de ma grub na sman dang mar gyi khu ba snying gar  
 byugs te dal gyis mnyes pa'i bde ba la sems gtad de / Do mbhi he ru  
 kas /

sman dang mar gyi khu ba yis // snying ga ru ni byugs nas kyang //

dal gyis cung zad mnyes par bya // de yang sems kyi bde ba che //

thugs kyi 'khor lor nges pa yin //

zhes so / de'i dus su rang rigs kyi phyag rgya ma yan lag ma tshang  
 ba la sogs pa smad pa yin yang 'dor du mi rung ste / dor na rtsa ltung  
 bcu gsum par 'gyur ro / sha dang chang dang snyoms 'jug gi mchod pa  
 gsum ma tshang na tshogs kyi 'khor lor mi 'gyur te / snying po rgyan  
 las /

ro yi longs spyod mthar phyin nas // chags bral 'jig rten chos dor te //

'dod pa'i bstan bcas las 'byung ltar // gnyis ka'i longspyod la rab gnas //  
 phan tshun dam tshig gtam smra zhing // dga' ba'i sems kyis 'ongs pa  
 dang //

dor na rtsa ba nyams 'gyur bas // 'bad pas dam tshig legs dran bya //  
 [399a] longspyod gsum po nyid med par // tshogs kyis bya bar 'gyur  
 ma yin //

zhes so / man ngag snye ma las ni / 'dir gal te bla ma las gzhan rnam  
 la shes rab ma med pa de'i tshe dpa' bo'i ston mor brjod par bya yi /  
 tshogs kyis 'khor lor ni ma yin no / bla ma la ni dpa' bo'i ston mo la  
 yang phyag rgya nges par dbul bar bya ste / bsod nams 'phel ba'i ched  
 du'o / zhes gsungs te / de ni / dpa' mo'i ston mo la yang mtshungs par  
 bde mchog stod 'grel las bshad do / dam tshig lnga par /

des kyang rang rigs ma la 'khyud // mi nus bsam gtan dag gis bya //  
 zhes dang /

gang yang dag ni mi rnyed pa // snod ma yin pas 'jigs pa yang //

bdud rtsi lnga dang sha lnga dag // bsam gtan gyis ni yongs su brtag //

ces dmigs bsal gsungs pa de ni / gnas skabs thams cad du gces shing /  
 dge slong dge tshul rnam la yang des shes par bya'o /

## II. 2. (9)〈金剛歌と舞踏の供養〉

dgu pa ni / sdom 'byung las /

ji ltar bde ba zhes brjod ces // tshigs bcad gsum rnam kyis bstod nas //

ji ltar 'de bar phyag 'tshal te // ji ltar bde zhing yid spro bas //

ki li ki li spro ba che // sna tshogs me tog mchod lus la //

me tog phreng bas rnam par brgyan // chang gi ston mo dga' byas pa //

rdo rje'i glu ni rdzogs pa dang // gar bya mchog tu dga' ba dang //

phyag rgya sngags kyis gar bya ste // gnas mtshan rkang pa rnam  
 kyis gar //

pa ṭa ha dang ḍom du sogs // rnga dang dung sogs sgra dbyangs dang //

yid 'phrog sil snyan sna tshogs kyis // he ru ka dpal mnyam pa'o //

g'yon pa'ang mchog gi rnal 'byor ma'o //

zhes pa'i don / tshogs kyis gtso bos ji ltar bde bar glu dang gar dang rol

mo byos shig ces gnang ba thob pa dang / dkyil 'khor gyi lha la dus  
 'khor pa yin na / gang la thog mtha' dbus med sogs sam / gsang 'dus  
 pa yin na / mi bskyod rjo rje ye shes che / sogs sam / dgyes rdor pa yin  
 na / khyod ni [399b] rnal 'byor ma tshogs yongs su bskor / sogs sam /  
 bde mchog pa yin na / rnal 'byor ro gcig bdud rtsi 'thungs pas rnam par  
 dag pa'i thugs / zhes pa la sogs pa rang rang gi dkyil 'khor lha'i bstod  
 pa'i glu snyan pa / drug ldan la sogs pa blangs nas bla ma la phyag  
 'tshal te / ji ltar bde bar lnga ldan dang / drang srong pa dang / grā  
 ma rā ga la sogs pa glu snyan pas rdo rje'i glu blang bar bya ste /  
 snying po mdor bsags las /

rdo rje dril bu sgra ldan pas // de nyid glu ni blang bar bya //  
 thar ba'i bde ba dam pa'i mchog // snying rjes brgyan pa'i bde la rol //  
 chags pa'i dga' bas brgyan pa yi // drag pos 'gal ba 'joms par mdzad //  
 stong pa nyid du gzigs pa yi // bza' dang bza' min rnam par spang //  
 'gro ba yongs su bsgral ba'i phyir // 'jigs pa'i gzugs kyis rnam par rol //  
 zhes gsungs pa bzhin nam / bde mchog mngon brjod bla ma las /  
 khro bo'i bde ba dgyes pa yi // bde ba'i longs spyod las byung ba'i //  
 bde ba dbab pa'i sbyor ba yis // rab tu rmongs pas bstan par byed //  
 bde chen bde ba'i gar gyis rol // rnal 'byor ma mchog pad ma'i bde //  
 a la la la la ho /

dgyes pa rnam kyis bde ba'i mchog // rnal 'byor ma mchog mchod par  
 mdzod // a i a a ra ho /

rab dgyes mgon po dgyes zhugs mdzod // mkha' 'gro dra ba'i bde ba  
 stsol //

dgyes pa'i bde ba stsol bar mdzod // zhi ba'i gar gyis gar mdzad pa //  
 bdag la bde chen bde ba stsol // thar ba'i mtshan nyid ldan pa khyod //  
 a la la la la ho /

bde ba spangs pas grol mi 'gyur // bde med sdug bsngal gyis mi grol //  
 bde de chu skyes dbus na gnas // chags pa'i dngos pos khyod ma  
 bsgyur //

bde ba che yis grol bar mdzod // pad ma rgyas pa'i ro nyid kyis //  
 bung ba lta bur tshim par mdzod // 'di yis mgon po bskul nas ni //

dkyil 'khor du ni nges par 'grub // snyan cing 'jam pa'i dbyangs kyis ni //  
 dpyid kyi rgyal po [400a] glur blangs pas // dri med mkha' 'gro dra ba  
 yis //

gzigs shing las kun mdzad pa yin //

zhes pa'am / dgyes rdor pa ltar na / ko lla i ri t̃hi a bo la / mu mmu  
 ni ro ka ko lla / gha ṅa ki si bha dzdza i / ka ru ṅe ki a i ṅa ro lā / ti  
 haṃ ba la khā dzdza i / gā ḍhem ma a ṅā pi dzdza i / ha le ka li dzi ra  
 pa ṅi a i / du du ra ba dzdzi a i / tsa u sa ma ka lthu ri si hla / ka rpu  
 ra lā i a i / mā la i i ndra ṅa śā li a / ta hiṃ bha ru khā i a i / praṃ kha  
 ṅa khe ṭa ka ra nte / śu ddha a śuddha na ma ṅi a i / ni raṅ śu a ṅga  
 tsa ṭa bi a ta hi dza sa ya ra bi bā ni a i / ma la ya dze ku ndu ru bā  
 ṭṭa i / ḍi ṅdi ma tra hiṃ ṅa ba dzdzi a i / zhes pa'am / yang na de bod  
 skad du bsgyur ba /

ke ho ko la'i rigs gnas rdo rje dang // mu mu'i pad ma 'dus pa yi //  
 rgyun du rnga chung sgra sgrog cing // snying rje ku co mi byed la //  
 der ni bsgrims te sha za pa // nyin mtshan chang ni 'thung ba yi //  
 kye yi dam tshig can ni gzhug // dam tshig mi ldan spang bar bya //  
 bzi mnyam dang ni gla rtsi dang // si hla ga pur byugs pa yi //  
 sa lu las skyed brtsos sbyar ba // der ni rgyun du za ba yi //  
 dag dang mi dag mi lta zhing // yan lag 'od med kyis brgyan pa //  
 gar byed pa yis bskyod pa yis // der skyes glu yis 'jug pa ste //  
 der ni rigs ngan mi spang zhing // rigs skyes sbyor bas gzung bar bya //  
 zhes pa la / gong gi rkang pa gnyis gnyis kyi mthar / nges 'byed glur  
 blang ba tha ma gnyis sbyor nas glur len te / rgya gar skad la / ko lla  
 i ri t̃hi a bo la / mu mmu ni re ka ko la / zhes pa'i rjes su / ma la ya  
 dze ku ndu ru bā ṭṭa i / ḍiḍaṃ mi tra hiṃ ṅa ba dzdza a i zhes rnal 'byor  
 pho mos zer len du byas la blang / bod skad du bsgyur ba ltar na / ko  
 la'i rigs gnas rdo rje dang / mu mu'i pad ma 'dus pa yi / zhes pa'i rjes  
 śu / 'dus par 'khrig pa la 'jug cing / der ni g'yung mo mi spang ngo /  
 zhes pa zer len bya / de bzhin du 'og ma rnams la yang bsgre'o / zer  
 len byed mkhan med [400b] par gcig gis len na'ang 'di bzhin du sbyar la  
 blang ngo / da lta dgyes rdor gyi lag len byed pa rnams kyis glu len

mi shes par snang bas shes na snyam nas bkod pa yin no / rdo rje'i glu  
 'di lhag gtor ma btang ba'i gong du blang bar rgyud rgya gzhung  
 rnams nas bshad pas / 'dir blang ngo / glu rdzogs pa dang / mchog tu  
 dga' ba'i bsam pas rang gi lha'i sngags glur blang zhing / rang gi lha'i  
 phyag rgya bcil / gnas mtshan rkang pa ste / gnas la sogs pa dang  
 grangs mnyam pa'i rkang stabs shes gsungs pas / rtsa ba'i rkang stabs  
 lnga / ma nges pa'i rkang stabs bdun te sa bcu gnyis dang grangs  
 mnyam pa'i rkang stabs bya zhing / de'ang dpa' bo g'yas brkyang byas  
 na / dpa' mo g'yon brkang sogs bya'o / a ra a ra / dzdzhom dzdzhom /  
 sma ra sma ra / tsa ta vam hoḥ tsa ta vam hoḥ hu lu hu lu / hūṃ dzaḥ  
 hūṃ dzaḥ a la a la / hu ṇu hu ṇu / hram hram / hu taṃ / ghai ghai  
 ghai ghai ta ta ghai ghai ghai ghai ta ghai ta ho ndo ho ndo hūṃ / ka  
 ka ka ka / kūṃ kūṃ kūṃ kūṃ kūṃ kūṃ vaiṃ vaiṃ kaiṃ / va dzra vam  
 dzriṃ dzriṃ dzriṃ / vam kai kai kai kai / hūṃ bhyo bhyo bhyo / ru lu  
 ru lu ru lu hūṃ bhyo bhyo bhyoṃ / 'dis sil snyan sna tshogs pa dang  
 pa ta ha la sogs pa'i rol mo sna tshogs pa sbyang zhing byin gyis brlabs  
 te rang gi lha'i cha lugs su zhugs te ngag dang dbyangs dang bcas pas  
 dkrol na dang la bzhi 'gyur du 'grub cing / ma dkrol yang bkod pa tsam  
 gyis las phra mo 'grub par mnyam sbyor 'grel par bshad cing / bod kyi  
 bla ma dag dngos su med kyang de'i cha lugs su zhugs te ngag tu brjod  
 pas kyang 'grub par 'chad do / de ltar glu dang gar rgyun du byas pas  
 mkha' 'gro ma byon pa'i rtags / sgog pa dang bya rgod dang ga pur  
 dang tsan dan gyi dri dang / ngang pa dang bung ba dang lce spyang  
 gi sgra 'byung bar dam tshig lnga pa nas bshad do / spyod' pa bsdus  
 pa'i sgron ltar / thugs gzhan du mi 'gyur ba dang phan tshun rab tu  
 dga' bar bya ba'i phyir / rim pa 'dis sangs rgyas kyi rol mo mdzad [401  
 a] de / phyag rgya dang phyag rgya'i lan dang / phyag dang phyag gi  
 lan dang / mchod pa dang mchod pa'i lan dang / gar dang gar gyi lan  
 dang / glu dang glu'i lan dang / lus kyi brda dang ngag gi brdas tha  
 snyad rnams su byed pa yin no / zhes te / dpa' bo rnams kyis rang gi  
 dam tshig gi phyag rgya'am de med pa rnams kyis phyag rgya chen po  
 bstan pa ni / phyag rgya / dpa' mos bstan pa ni / phyag rgya'i lan /



yang na dpa' bos rdo rje'i phyag rgya bstan / dpa' mos lan du dril bu'i  
 phyag rgya ston pa sogs thabs shes rab kyi rigs 'gros brtsis la bya'o /  
 mchod pa byed pa na / dpa' bos su ra to 'ham / zhes pas rang gi lha rjes  
 su dran par byas la rdor sems kyi nga rgyal gyis su ra stvam zhes brjod  
 pa ni / mchod pa'o / dpa' mos sogs sa ma ya stvam zhes pas rang gi lha  
 rigs lnga rjes su dran par byas la / sa ma yo 'ham gis rdo rje sems dpa'i  
 rje su dran par bya / a nu rā ga yā mi zhes pa ni / rdo rje sems dpa'  
 sgrub pa la mchod pa'i lan no / de bzhin du gzhan 'dra ba la rnam snang  
 sgrub pa la a nu bo dha yā mi / he ru ka sgrub pa la a nu mo da yā  
 mi / pad ma gar dbang sgrub pa la a nu rā ga yā mi / rta mchog sgrub  
 pa la a nu rām śa yā mi zhes pa lan yin no / de bzhin du dpa' bos gar  
 dang glu bya / dpa' mos byas pa ni / gar dang glu len no / de ltar  
 mchod pa dang longs spyod la tshim par longs spyad / zas la 'phyas mi  
 gdags par mang du bza' skom ci rnyed pa btung / snod stong par mi  
 gzhag / zas sa rjen la mi gzhag / tshogs kyi gtso bo la snod gnyis /  
 gzhan la re re / bde mchog ltar na / thams cad snod gcig tu bza' / snod  
 mu dang kha da chad du mi dgang / 'dren pa dang len pa thams cad  
 lag pa gnyis kas drang zhing gnyis kas blang / tshog kyi gtso bo la  
 'dren pa dang len pa na phyag bya / 'gro na tshogs kyi gtso bo la phyag  
 bya ste zhu / 'ongs pa na phyag bya / gzhan [401b] yang bya ba zhu ba  
 thams cad phyag byas te zhu / spyod lam gyi shugs kyis 'gro dgos pa  
 byung na mi dgag / brel ba gzhan byung nas 'gro dgos na mkhen par  
 gsol bzod par gsol te 'gro / rtsod pa byed pa byung na gdon / 'don ma  
 nus na rang bzhin du 'gro / gtso bos bka' ma bsgo bar stan la mi  
 'dug / glu gar dang rol mo dang dris lan dang log par smra bar mi  
 bya / rkang pa brkyang ste mi 'dug / lus ma bsdams par mi 'dug / bza'  
 btung dang rnal 'byor pho mo la chags par mi bya / 'jigs pa dang dogs  
 pa dang ngo tsha ba dang gtsang mi gtsang gi rnam rtog dang bzang  
 ngan gyi rnam rtog dang 'dzem par mi bya / rnal 'byor pho mo la ma  
 gus pa dang / skur ba mi gdab / spyod pa'i brtul zhugs pa skrag par  
 mi bya / zas la brkam pa dang chags pa dang mchog gi phyir mi za /  
 'du 'dzi'i gtam dang / nyan thos kyi bslab bya dang / rigs ngan dang

smad 'tshong ma'i gtam mi bya / nyon mongs pa'i sems mi bskyed / las  
 dang po pas kyang dran pa nye bar bzhag ste / spyod pa gang yang  
 ma dag par mi bya / zas kyis lus ma 'byongs pa dang gtor ma ma btang  
 bar phyir mi 'gro / ma zhus pa dang bsngo ba smon lam ma byas bar  
 mi nyal / yon bdag gis kyang / bza' btung gis tshim par mi nus pa'i  
 mgron spyan mi drang / spyan drangs pa rnams zas kyis tshim par  
 bya / phan tshun rtsod pa dang shags mi bya / gang du zhugs pa  
 thams cad kyis gsang thub par bya'o / snying po rgyan las /  
 bla mas rjes su gnang min par // glu dang gar sogs mi bya'o //  
 ji ltar mchod dang longs spyod dag // tshim pa ru ni ma byas par //  
 bre mo'i gtam gyis 'du 'dzi'i sems // rnam pa kun tu mi bya ste //  
 byas na dmyal sogs 'bras thob 'gyur // mchod tshe gshung na ngu 'bod  
 de //  
 sred pas yi dwags nges par 'gyur // rang gi bsam gtan bral gyur na //  
 dud 'gro'i gnas su ltung phyir dang // bsam pa rab tu brtan pa yis //  
 sku gsung thugs kyi rdo rje dang // sa [402a] gsum po ni rab tu mchod //  
 ji srid gtor ma ma gtang bar // 'khor lo'i phyi rol 'gro mi bya //  
 gang du dpa' bo rnal 'byor ma // tshim pa ru ni mi nus na //  
 de dag snyan gsan dbab mi bya // gang du tshim par ma gyur pa //  
 der ni bsod nams rab zad byed // de bas kun tu rnal 'byor pa //  
 zas sogs kyis ni tshim par bya //  
 zhes so /  
 bza' dang btung ba rang gis ni // shin tu ltogs kyang blang mi bya //  
 rtsod pa la sogs gang byed pa // de nas de ni gdon par bya //  
 yang na gdon par mi nus na // de tshe sdig pa la brtags pas //  
 rang nyid gzhan du 'gro ba'am // mi smra ba la brten par bya //  
 las kyi rdo rjes btung sogs la // rang gis blangs kyang nyes pa med //  
 spyod lam shugs kyis phyir 'gro na // de ni dgag par mi bya'o //  
 mngon pa'i nga rgyal zhe sdang gis // gzhan smod dam pa ma yin pa'i //  
 tshig gis slad dang rtsod pa'i gtam // mi dga' ba yang spang bar bya //  
 bkag pa yang ni spyod gyur na // rtsa ba'i ltung dang sbom po ni //  
 myur du gso ba'i cho ga bya // de ni ldang ba'i cho gar grang //

rdo rje slob dpon tshim gyur pas // bar du gtor ma sbyin par bya //  
 glu dang gar la sogs rgyun ni // de yi bka' yis gnang bar bya //  
 tshogs kyi 'dus pa la bya ba // lag pa rkang sogs bag ldan bya //  
 shin tu bag med rgyu yi phyir // btung ba mang po spyad mi bya //  
 ji snyed lus kyis g'yo 'gul dang // ngag gis brjod pa ji snyed pa //  
 de snyed sngags dang phyag rgya ste // he ru ka dpal go 'phang gnas //  
 gang gis dug gi dum bu yis // skye bo rnams ni 'chi 'gyur ba //  
 dug gi de nyid shes pa yis // dug gis dug ni 'joms par byed //  
 kha cig brel ba gzhan yod pas // yun ring 'dug par mi nus na //  
 de yis phyag 'tshal mkhyen gsol te // bzod gsol nas ni 'gro bar bya //  
 'di dang gzhan gyi rgyud gsungs pa'i // bya ba rnams ni dal la bya //  
 gang phyir myur du byas pa yis // rnal 'byor [402b] pa yi dga' nyams  
 byed //

ces dam tshig lnga par gsungs so / 'dir dge slong dang dge tshul las  
 dang po pa sbyang ba dang sbar ba dang rtogs par byed pa'i nus pa med  
 pa rnams kyis / tshogs kyi 'khór lor dam tshig gi rdzas sha lnga bdud  
 rtsi'i ril bu yungs kar gyi tshang tsam bsten pa ma gtogs pa longs  
 spyad par mi bya / nyan thos kyi bslab pa ji lta ba bzhin du bskyang  
 bar bya'o / tshogs kyi 'khor lor 'du bar gsungs pa ni / rnal 'byor pa'i  
 go 'phang thob pa / sbyang sbar rtogs par byed pa'i nus pa thob pa /  
 chang 'o mar bsgyur ba dang / sha pa tra ke sha dang / bshang pa bzhi  
 mnyam / dri chu gla rtsir bsgyur ba la sogs pa'i nus pa thob cing /  
 gzhan gyi ma dad pa bzlog nus pa'i dbang du byas pa'o / bde mchog  
 stod 'grel las /

gang gi tshe dbang bskur ba la sogs pa'i nyin zhig la bya ba'i dam tshig  
 ni / shin tu sbas pas bya zhing / phyi nas bla ma dam pa rnams kyis  
 rigs kyi bu rnams la dgag par bya'o / dge slong rnams la ni / dbang  
 bskur ba'i dus su'ang sbyin par mi bya ste / chos gos 'dzin pa rnams la  
 bla mas rang gi tshig gis thams cad rab tu bstan par bya'o / rnam pa  
 gzhan du bla ma dam tshig nyams par 'gyur ro / de rnams la theg pa  
 chen po la sems bskyed pa dang / lus dang ngag legs par bsdams pa  
 sbyin par bya ste / nyan thos kyi bslab pa ji lta ba de bzhin du lus dang

ngag gis bskyang bar bya'o / zhes so /

### Ⅲ. 随行

#### Ⅲ. 1.〈施主による所願成就の懇願〉

gsum pa la / yon bdag gis 'dod pa'i don la gsol ba gdab pa / yon dbul  
 zhing bsngo ba smon lam bya ba / yon bdag la shis pa brjod pa / 'byung  
 po la gtor ma gtang ba / dkyil 'khor bye bar bsdu pa / bzod par gsol  
 te gshegs su gsol ba dang drug gi dang po ni / sbyin bdag la zhi ba  
 dang rgyas pa la sogs pa'i las kyi dngos grub gang 'dod ces dris la /  
 gang 'dod zer ba de dang mthun pa'i las sgrub pa'i dmigs pa sngar ting  
 nge [403a] 'dzin bsgom pa'i dus su'ang bya zhing / 'dir yang de dang  
 mthun pa'i las 'grub pa'i gsol 'debs dang byin rlabs bya ste / che ge mo'i  
 dkyil 'khor gyi lha tshogs thams cad kyis / yon bdag che ge mo'i sdig  
 pa dang sgrib pa dang / lus dang / srog dang / longs spyod dang /  
 skal ba dang / dge ba sgrub pa'i bar du gcod pa nad dang gdon dang  
 bgegs nye bar 'tshe ba dang mi mthun pa'i phyogs thams cad nye bar  
 zhi bar mdzad du gsol / zhes dang / che ge'i sdig pa dang sgrib pa  
 thams cad sã ntiṃ ku ru svā hā / de bzhin du sgrib pa dang nyes ltung  
 mi mthun pa'i phyogs thams cad sã ntiṃ ku ru svā hā zhes brjod / de  
 bzhin du rgyas pa dang dbang la sogs pa la'ang rigs pa bsgre / sdom  
 'byung las /  
 sbyin bdag yid la 'dod pa yi // ji ltar zhi dang rgyas pa'i las //  
 dris te dngos grub rgyu ru ni // ji lta ji ltar 'dod pa'i las //  
 de bzhin las la byin rlabs bya // zhes so /

#### Ⅲ. 2.〈施主による施物の奉献と廻向と誓願〉

gnyis pa ni / sdom 'byung las /  
 sbyin pa'i bdag po 'dun pa ste // dkyil 'khor gyi ni mdun rol du //  
 snying gar thal mo sbyar byas te // smon lam bsngo ba thams cad bya //  
 zhes gsungs pa bzhin du / sbyin bdag gis tshogs kyi gtso bo dang /  
 dkyil 'khor gyi mdun du maṇḍala dbul / phyag bya / thams cad la yon  
 dang / tshogs kyi gtso bo dang de'i rig ma la yon lhag phul te / dkyil

'khor la me tog phul / lag tu me tog thogs / rdo rje thal mo snying  
 gar sbyar nas / tsog tsog pur 'dug la bsngo ba smon lam bya / de'ang  
 shes na rang gis bya ste /  
 rdo rje 'dzin sogs dgongs su gsol // khyed la rab tu dad pa yis //  
 mchod pa'i tshogs ni rab phul bas // bdag mtha' sems can ma lus rnam //  
 'khor ba'i sdug bsngal spangs nas ni // bde chen rdo rje 'dzin rgyal  
 shog //  
 mi shes na tshogs kyis slob dpon gyi rjes su zlos pa bya / slob dpon gyis  
 kyang / Do mbhi he [403b] ru kas /  
 de la sangs rgyas thob pa'i rgyu // bsod nams ye shes tshogs yin te //  
 tshogs las dngos grub mchog tu 'gyur // de phyir rtag tu tshogs bsags  
 bya //  
 ye shes mngon par rtogs pa ste // bsod nams rnam pa mang yod kyang //  
 rang gi lha yi 'khor lo yi // 'dod yon lnga sbyor bla na med //  
 ces gsungs pa bzhin du / tshogs kyis yon bshad pa cung zad sngon du  
 btang la / da lta tshogs kyis 'khor lo bskor ba'i dge ba'i rtsa ba 'dis gtso  
 byas dus gsum du bsags pa'i dge ba'i rtsa ba rnams la brten nas / sems  
 can thams cad kyis rdo rje 'chang chen po'i go 'phang myur du thob par  
 gyur cig snyam pa gyis shes brjod la / bla ma rdo rje 'dzin pa chen po  
 la sogs pa yi dam dkyil 'khor gyi 'khor lo'i dpa' bo dang rnal 'byor ma  
 thams cad bdag la dgongs su gsol zhing / bod kyis bla ma'i phyag bzhes  
 ltar ram / rnam snang mdzad dang mi bskyod pa / rin chen mchog  
 dang 'jig rten dbang / don yod grub pa la sogs pa / sangs rgyas byang  
 chub sems chen rnams / kun nas bdag la dgongs su gsol / zhes gdan  
 bzhi'i sgrub thabs las 'byung ba ltar ram / sa mpu ta las /  
 sangs rgyas byang chub sems dpa' kun // bdag la dgongs par mdzad du  
 gsol //  
 zhes sngon du btang nas / sngar gyi tshig de nyid dam yang na /  
 sems can thams cad bde gyur cig // sems can thams cad skyon med par //  
 gang gi lam gyis grol 'gyur ba // de yis sangs rgyas nyid thob shog //  
 ma bsgral ba dag bsgral bar bgyi // ma grol ba dag dgrol bar bgyi //  
 rnal 'byor bstan bcos bya ba'i dngos // da lta ru ni yang dag btags //

shes 'byung ba ltar ram / dus 'khor ltar na / ji ltar nyi ma dang bcas  
 zhes sogs sam / bsod nams 'di yis rnam gsum srid pa la gnas sems can  
 rnams ni bla med byang chub thob par shog / ces pa'am / bde mchog  
 ltar na / bdag gis dus gsum dge ba ci spyad pa / nam mkha' mtha' [404  
 a] klas gyur ba'i sems can rnams / bla med theg pa chen po'i snod gyur  
 te / kun kyang rdo rje 'dzin pa'i bdag nyid shog / ces pas mthar thug  
 sangs rgyas su bsngos la / gnas skabs kyi smon lam / bde mchog pa  
 ltar na / lha mo tshad ma dam tshig tshad ma dang / des brjod gsung  
 yang mchog tu tshad ma ste / bden pa de yis lha mo de dag rnams /  
 bdag la rjes su 'dzin pa'i rgyur gyur cig / srid pa dang mnyam zhi ba'i  
 chags bcom kun tu rtog 'joms / khyod ni dngos po mtha' dag mkha' ltar  
 gzigs pa dag dang ldan / mgon po shin tu brtse ba lci ba'i chus brlan  
 thugs kyi chus / mdzod cig lha mo rnams ni bdag la shin tu rjes brtser  
 mdzod / ces pa'am / Bhu ri pa'i rgyun bshags las /  
 skye zhing skye ba dang ni thams cad du / blo ldan rigs bzang nga  
 rgyal med pa dang /  
 snying rje dang ldan bla ma la dad cing / 'khor lo sdom pa'i dam tshig  
 la gnas shog /  
 ces sogs sam / kye rdo rje las /  
 rigs su skye dang dam tshig can // smyo med ke yi rdo rje ston //  
 bla ma la gus snying rjer ldan // skye zhing skye bar 'gyur bar shog //  
 lag pa rdo rje dril bu 'khrol // zab mo'i chos ni klog pa dang //  
 btsun mo'i khu ba myam zas can // skye zhing skye bar 'gyur bar shog //  
 ces pa lta bu gnas skabs kyi smon lam rang rang gi rgyud dang 'phags  
 pa rnams kyis mdzad pa'i gzhung nas 'byung ba rnams kyis bsngo ba  
 smon lam rgya cher byas la yon bdag spro ba bskyed par bya ste /  
 e ma 'o sems can chen po khyod // sangs rgyas rnams kyis de ring ni //  
 khod la rab tu dgongs 'gyur te // sangs rgyas nyid du 'gyur ba nas //  
 'bras bu chen po mthong ba ste // yid ches pa yis brtson par bya // zhes  
 brjod do /

### III. 3.<施主に対する祝福>

gsum pa ni / sdom 'byung las /  
 de yi phyi nas tshogs kyi gtso // yon bdag dge ba'i bsam pa la //  
 rnal 'byor rnal 'byor ma 'dus te / bkra shis mchog ni sbyin par bya //  
 zhes gsungs [404b] pas / der 'dus pa'i dpa' bo dang rnal 'byor ma thams  
 cad kyi yon bdag la bkra shis gsol bar bya ste /  
 bde ba phung tshogs yang dag ldan // nad med dge ba'i sems dang ni //  
 'dod dang thar sogs yang dag thob // phun sum tshogs pa grub gyur  
 cig //  
 sbyin pa la sogs rnam kyi 'gro ba'i yid la re ba yang dag rdzogs pa'i  
 mchog / rnam rtog gti mug grong khyer thams cad bcom zhing he ru  
 ka sogs mkha' 'gro mas / 'khor lo yongs bskor rgyal ba bla ma ye shes  
 'byung gnas thar pa ster pa gang / 'di dang shin tu brtse ba che ldan  
 'phags dpal 'byor ba'i myur ba rtag tu shog / ces sdom 'byung nas  
 'byung ba'i tshigs bcad gnyis sam / dus 'khor pa ltar na / gang dag  
 steng na zhes sogs kyi bkra shis sam / bya ba'i rgyud stong chen rab  
 'joms las 'byung ba'i 'jig rten 'di dang zhes sogs sam / gzhan yang rgyud  
 las 'byung ba'i bkra shis kyi tshigs su bcad pa rnams kyi yon bdag la  
 shis pa rgyas par bya'o /

### III. 4.〈バリ供養〉

bzhi pa ni / A bhyas / gtor ma dang po dang bar dang tha mar sbyin  
 par bya'o / zhes gsungs shing / dam tshig lnga pa las /  
 bla mas tha ma'i gtor ma sbyin // de bzhin phyir lhag gtor ma yang //  
 zhes gsungs pas / dkyil 'khor ba 'jig rten las 'das pa dang / 'jig rten pa'i  
 gtor ma gnyis gtor cho ga bzhin sbyin / sdom 'byung las /  
 lhag ma'i gtor ma bsdus nas ni // 'byung po 'chol ba rnams la sbyin //  
 zhes gsungs pas / bza' btung gi lhag ma dgyer du mi rung ba'i phyir /  
 lhag ma thams cad phyogs gcig tu bsdus la phung dang bsres te / slob  
 dpon gyi mdun du bzhag ste / slob dpon gyi kha myos byed kyi bkang  
 ste 'bar ba'i phyag rgya kha'i thad kar bzhag ste om āḥ hūṃ phaṭ ces  
 pa dang hūṃ gi sgra drag pos kha phrus btab la dri dang me tog la  
 sogs pas mchod de / om sa rva kha kha khā hi khā hi / u cchi ṣṭa ba liṃ

u cchi ṣṭa bha kṣe bhyoḥ svā hā / [405a] zhes sdom 'byung nas 'byung  
 ba ltar ram /  
 rdo rje dril bu sgrar bcas pas // dpa' bo'i lhag mas gtor ma dgang //  
 rang bzhin med pa'i sems kyis ni // kha cig yongs su dgang bar bya //  
 las gang 'dod par bsam nas su // gtor ma'i snod du dgab par bya // om  
 ku ru ku ru /  
 rje dang rje chen dngos grub gter // dur khrud gnas la yi dwags gdong //  
 gtsigs byed gtum mo khrag dgyes ma // dam tshig bsrung zhing rnal  
 'byor 'dzin //  
 ki li ki li'i sgra sgrog ma // pha mes nags gnas gdon gyi ni //  
 tshogs bcas dbus su bzhugs gyur pa // gtsigs byed gtum mo dud sol  
 ma //  
 bzhes shig gsol cig dam tshig lha // bzhag nas dbang du mdzad du gsol //  
 hūṃ ḡṛ hna ḡṛ hna sa rva du ṣṭa na / bha kṣa bha kṣa ho phruṃ phruṃ  
 phruṃ phruṃ phaṭ svā hā /  
 rdo rje khu tshur gnyis bcings nas // dkar po dang ni gi vang bsgreng //  
 rtse mo cung zad bkug nas ni // kha yi gra ru gzhag par bya //  
 lhag ma'i gtor ma la dud pa'i sol ba mo zhes bya ba'i sngags dang phyag  
 rgya'o /  
 pha mes nags gyi mchog dang ni // brag dang shing gcig chu chen  
 'gram //  
 nye bar spyad pa lnga ldan pa'i // gtor byin se gol gsum gtog bya //  
 zhes bshad pa ltar ro / de bzhin du rang rang gi gzhung nas 'byung ba'i  
 cho gas lhag gtor la mar me btsugs la gtor ma chu 'gram la sogs par  
 gtung ngo / Nag po pas / rnal 'byor pho mo'i lhag ma ni / phyi rol gyi  
 sha za sogs la phyi sgor bton la gtang / yon bdag khyim pa'i lhag ma  
 yin na / de nyid kyi mi ma yin la bsngo / de lta bu'i skal ba med pa la  
 slob dpon gyi kha nas bdud rtsis bran la sbyin / gtor skyel log pa dang  
 / tshogs khang gi sgor me long bstan / dung bu chu can gyi zho zan  
 gyi mchod / nang du slebs pa dang rnal 'byor pho mo la'ang de bzhin  
 du dbul gsung ste / phyag len la snga ma bde'o / cang te'u brdung zhing  
 mkha' 'gro ma'i ming nas [405b] smros te phreng hūṃ zhes brjod pa ni



/ lhag gtor gyi cho ga rang ma yin no /

Ⅲ. 5.〈曼荼羅の揆遣〉

lnga pa ni / sdom 'byung las /  
 spros pa'i dkyil 'khor rnam pa ni // cho ga 'byung zhing bsdu bar bya //  
 zhes gsungs pas / rang rang so so'i dkyil chog nas 'byung ba bzhin  
 dkyil 'khor la gtang rag gi mchod pa bya / 'dod pa'i don la gsol ba 'dab  
 / yi ge brgya pas lhag chad kha bskangs te nongs pa bzod par gsol /  
 dkyil 'khor gyi lha gshegs su gsol / mtshan ma bsdu / rdul tshon bsdu  
 / dge ba bsngo / shis ba brjod pa rnams rang rang gi gzhug du shes par  
 bya'o /

Ⅲ. 6.〈堪忍の請願と帰還の奏上〉

drug pa ni / byon pa'i dpa' bo rnams kun gyi / gshegs pa'ang bde ba  
 chen po'i las / zhes gsungs pas dpa' bo dang rnal 'byor ma kun gyi  
 mchod pa bsdu / thig le phyis te ldang ba'i cho gas langs te / dper na  
 bde mchog lta bu la / rang zhal gcig phyag gnyis pa yab yum du langs  
 / go cha gsum gyis bsrung / se gol phyogs bzhir brdab cing tsham rnga  
 ma sngags kyis bsrung ba byas te dga' ba gsum dang ldan par ldang  
 ba ltar / gzhan la'ang rang rang gi gzhung bzhin bya / yon bdag gis  
 mchod pa'i yo byad chung zhing ngan pa bzod par gsol / byon pa bka'  
 drin che'o / zhes brjod cing / don chen po grub snyam du dga' ba bsgom  
 / rnal 'byor pho mos rjes su yi rang snyam du dga' ba bsgoms la so sor  
 'gyes so / snying po rgyan las /  
 ser sna med cing dga' ba yis // gtor ma rab tu sbyin byas la //  
 'dod pa'i las ni rab tu bsgom // yi ge brgya pas brtan byas nas //  
 rab tu dang ba'i sems kyis ni // 'dod pa'i yon tan thams cad ni //  
 legs par gsol ba gdab par bya // bzod par gsol ba sngon 'gro bas //  
 thams cad kyang ni gshegs su gsol // bsod nams yongs su bsngos byas  
 te //  
 dga' bas rab tu gnas par bya // zhes gsungs so /

## IV.&lt;付則(ドーンビヘールカの教誡)&gt;

de rnams kyi phan yon nyes dmigs bshad / [406a] pa slob dpon Do mbhi  
 he ru kas rnal 'byor pa dang rnal 'byor ma thung mong ma yin pa'i don  
 la gdams pa las / dur khrud ha ha rgod pa zhes bya ba ru / rgyal po  
 Mun dza ma dya zhes bya bas yon bdag byas te / slob dpon Do mbhi  
 he ru ka la sogs pa'i tshogs dpag tu med pa 'dus te / tshogs kyi 'khor  
 lo bskor ba las / bram ze Di ra bha dras slob dpon la ma zhus par stan  
 las langs te phyir song bas / rnal 'byor pa rnams kyis bag dang mi ldan  
 par rtogs nas phyir dbyung pa'i las byas nas tshogs khang du ma chud  
 do / de nas slob dpon Do mbhi he ru kas rnal 'byor pa rnams la gdams  
 pa / kye theg pa chen po thun mong ma yin pa'i lam 'di la zhugs nas dam  
 tshig dang brtul zhugs dang 'gal bar mi bya ste / de skad du yang /  
 rnal 'byor ma kun tu spyod pa'i rgyud las / dbang thob nas ni dam tshig  
 nyams mi bya / tshogs kyi 'khor lo mthun bcas gnas su bskor / bya ba  
 thams cad he ru ka yi bdag / tshul ma yin pa byed pa tshar gcad do /  
 zhes 'byung bas so / e ma ho / rnal 'byor pa rnams kyis rtsod pa'i gnas  
 su gyur ba na yang / tshe gcig gis phyag rgya chen po'i dngos grub  
 thob par byed pa'i thabs mchog tu gyur pa / tshogs kyi 'khor lo 'di dag  
 longs spyad du yod pa 'di ni / thun mong ma yin pa'i bsod nams kyi  
 mthu las grub pa'o / kye rdo rje 'dzin pa rnams dga' bar byos shig /  
 'khor lo dam pa 'di dag kyang phal pa'i gnas su bskor bar mi bya ste /  
 tshong 'dus spang bar bya'o / g'yeng ba'i grong dang / bram ze'i khyim  
 dang / rgyal po'i pho brang dang / rje rigs kyi khyim dang / dge 'dun  
 gyi kun dga' ra ba dang / kla klo bag med pa dag spang bar bya'o /  
 mu stegs kyi grong dang / 'brog dgon pa dang / gcan gzan gdug pa  
 can rgyu ba'i gnas dag kyang spang bar bya'o / mkha' 'gro ma rgyu  
 ba'i [406b] gnas dang / grong zad pa'i mtha' dang / dgon pa dang / lha  
 khang dang / dur khrud dang / phug stong pa dang / shing drung  
 dang nags tshal gyi mthongs dag tu / tshogs khang yang / khang pa  
 rim pa gsum dang ldan pa brtsigs te / tshogs kyi 'khor lo'am dpa' bo'i  
 ston mo bya'o / de dag dang mi ldan pa dag tu 'du bar mi bya'o / slob  
 dpon gyis ma bsgo bar brda mi bya'o / gsol ba ma btab par sgo mi

dbye'o / bsang gtor ma byas par nang du mi 'gro'o / mchod yon ma  
 drangs par gтам mi smra'o / slob dpon la me tog ma phul bar stan la  
 'dug par mi bya'o / las kyi sems dpa' dang sems mas ma bsgos par gral  
 la 'dug par mi bya'o / gsol ba ma btab par ting nge 'dzin la myam par  
 gzhaг par mi bya'o / thig le ma bkod par rnal 'byor pa la mchod pa mi  
 bya'o / bdud rtsis ma bran par kha zas phyin gyis brlab par mi bya'o /  
 'jigs pa dang dgos pa dang ngo tsha ba med par longs spyad par bya'o  
 / zas la zhen par mi bya'o / rnal 'byor pho mo la chags par mi bya'o /  
 gcer bu'i cha byad gyis gnas par bya'o / dur khrud kyi rgyan byin gyis  
 ma brlabs par bgo bar mi bya'o / rtog pa dang 'dzem pas zin na /  
 dmyal ba chu bur can du skye'o / des na dge slong la sogs pa rtog pa  
 can dang ldan pas kyang 'dir rtog par mi bya'o / skyil krung gis gnas  
 par bya'o / rgan pa'i rim pa bzhin gral du 'dug par bya'o / slob dpon  
 gis snyoms par ma zhugs par 'jug par mi bya'o / zas lag pa gnyis kyis  
 drang zhing gnyis kyis blang bar bya'o / slob dpon la ma zhus par glu  
 dang gar dang bag y'angs kyi spyod pa mi bya'o / shing la sogs pa'i  
 'og gzhi med par zas gzhaг par mi bya'o / khyim pa la sogs pa dang  
 blo chung ba rnams kyis ma gus pa dang skur pa 'debs par mi bya'o /  
 btab na / mnar med pa'i sems can dmyal bar skye bar 'gyur ro / zhes  
 rgyud las gsungs [407a] so / e ma ho / rnal 'byor pa nams pha rol gyi  
 skyon rtog par ma byed cig / rnal 'byor pa rnams kyis spyod pa'i brtul  
 zhugs la ma skrag cig / gal te skrag na rdo rje dmyal bar skye bar  
 'gyur ro / dpa' bo dang mi ldan pa'i dpa' mo dang / dpa' mo dang mi  
 ldan pa'i dpa' 'bo dag gis tshogs kyi 'khor lo bskor bar mi bya'o / dkyil  
 'khor dang mi ldan par dpa' bo'i ston mo dag kyang mi bya'o / kye rnal  
 'byor pa rnams zas la brkam pa dang chags pa dang lus kyi ched dang  
 stobs kyi phyir mi bza' / gal te zos na yi dwags rgyu bcings su skye bar  
 'gyur ro / kye rnal 'byor pa rnams 'dod chags dang zhe sdan dang gti  
 mug dang nga rgyal dang phrag dog dag gis gnas par ma byed cig /  
 sgyu ma mkhan gyi gтам dang / rol mo mkhan dang / rgyal po dang  
 / dmag dang / tshong dang / sman dang / don med pa'i bstan bcos  
 dang / nyan thos kyi bslab par bya ba dang / rigs ngan dang / smad

'tsong ma la sogs pa'i gtam smra bar mi bya'o / rkang pa brkyang ba  
 la sogs pa'i 'dug stangs kyis lus ma bsdams par 'dug par mi bya'o / las  
 dang po pa rtogs pa dang mi ldan pa dag gis kyang spyod pa dam pa  
 dag gis nye bar zhog cig / spyod pa gang la yang ma dag par ma byed  
 cig / zas la mang du bza' bar bya'o / zas la 'phya bar mi bya'o / zas la  
 mnyen par bya'o / skom ci rnyed pa btung bar bya'o / bla mas bka'  
 stsal ba dag ni thams cad bya'o / zas kyis lus ma 'byongs par phyir  
 'byung bar mi bya'o / gtor ma ma btang bar phyir 'byung bar mi bya'o  
 / ma zhus pa dang / bsngo ba ma byas pa dang / smon lam ma btab  
 par nyal bar mi bya'o / ke rnal 'byor pa rnams don chen po dang ldan  
 par go bar gyis shig / dga' ba dang / spro ba dang / sems gzengs mtho  
 bar gyis shig / tshul 'di dag gzhan du smra bar ma byed cig / gal te  
 smras na / mkha' 'gro mas mgo bo [407b] 'gas par byed cing / dngos  
 grub kyang 'jig par byed do / de bas na / 'di dag las nyams par mi  
 bya'o / zhes gsungs so /

## V. 〈奥書〉

tshogs kyi 'khor lo dang dpa' bo'i ston mo'i cho ga 'di / bde mchog sdom  
 'byung gi rgyud kyi tshogs 'khor gyi le'u'i rtsa 'grel dang / slob dpon  
 'Jam dpal grags pas mdzad pa'i gsang ba thams cad kyi spyi'i cho ga  
 dang / snying po rgyan gyi tshogs 'khor gyi le'u gnyis gzhir byas nas  
 / dus 'khor dang / bde mchog stod 'grel nas 'byung ba'i tshogs 'khor  
 dang dpa' bo'i ston mo'i cho ga dang / sa mpu ta dang man ngag snye  
 ma nas bshad pa rnams dang / gdan bzhi dang / de'i dkyil chog Ā rya  
 de bas mdzas pa dang / slob dpon Pad mas mdzad pa'i tshogs 'khor  
 dam tshig lnga pa dang / Do mbhi he ru kas mdzad pa'i kye rdo rje'i  
 tshogs 'khor dang / Nag po pas mdzad pa'i kye rdo rje'i tshogs 'khor  
 dang / Nag po pas mdzad pa'i gshin rje'i gshed dgra nag gi tshogs 'khor  
 dang / Śā nti pas mdzad pa'i 'jigs byed kyi tshogs 'khor dang / Dril bu  
 pas mdzad zer ba'i bde mchog gi tshogs 'khor dang / spyod pa bsdu  
 pa'i sgron ma rnams la gzhi byas / slob dpon Do mbhi he ru kas mdzad  
 pa'i thun mong ma yin pa'i don la gdams pa rnams la brten nas / bla

ma brgyud pa'i phyag len gyi man ngag gis brgyan te bris pa'o / sku  
 bzhi'i dpal gyis bde chen rnam rol rdo rje 'chang / zag med bde bas bde  
 chen rnam rol dkyil 'khor lha / 'phrin las dpal gyis bde chen rnam rol  
 srung ma'i tshogs / kun bzang mchod pas bde chen rnam rol cho ga 'di  
 / bla med rgyud dang mkhas grub dri med gzhung bsdus nas / gzhan  
 gyis bskul ngor dge slong Ring chen grub kyis sbyar / de yi dge bas  
 rnam grol rin chen gling gi bdag / sku gsum rin chen gdengs kas brjid  
 par grub gyur cig / gal te 'di la nongs pa'i tshogs mchis na / bla ma  
 lhar bcas mkhas pa'i tshogs rnams kyis / [408a] bzod pa'i ye shes me  
 chen rab sbar bas / nyes pa'i tshang tshing ma lus sreg par mdzod /  
 tshogs kyis 'khor lo dang dpa' bo'i ston mo'i cho ga bde chen rnam rol  
 zhes bya ba 'di / skad gnyis smra ba chen po Dha rma sri bha dra dang  
 yo ga pa chen po dBang rnon dang / dus 'khor pa 'Jam dbyangs dkar  
 po dang / dge slong bSod nams grub kyis yang yang bskul ba'i ngor /  
 Bu ston gyis / dge byed kyis lo snron gyi zla ba'i dkar phyogs kyis tshes  
 brgyad la yongs su rdzogs par sbyar ba'i yi ge pa ni 'Jam dbyangs dkar  
 pos bgyis so / 'dis 'khor ba sdug bsngal gyi rgya mtsho chen po myur  
 du skem par gyur cig / su bham //